

第四次

福生市子ども読書活動推進計画



令和3年3月

福生市

『第四次福生市子ども読書活動推進計画』策定に当たって

平成13年に施行された『子どもの読書活動の推進に関する法律』は、子どもの読書活動が「言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであること」から「すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない」ことを基本理念としています。

福生市では、平成17年3月に『福生市子ども読書活動推進計画』を策定し、その後、第二次、第三次と計画の策定を経て、図書館ホームページでの子どもページの開設や、赤ちゃんはじめての絵本事業の実施、対象年齢ごとの絵本リストの作成配布、乳幼児タイムの設定等、施策の計画的な推進、実施を図って参りました。

現在、子どもを取り巻く環境は、少子高齢化や情報化・グローバル化の進展等、大きく変化しています。読書活動は、この予測困難な時代の変化に対応するために必要な資質・能力を育むことにつながるという意味で、ますます重要性が増していると言えます。

これらのことから、このたび策定することとなりました『第四次福生市子ども読書活動推進計画』では、令和3年1月から市内小・中学校で実現した一人1台のタブレット端末の導入が、児童・生徒の読書活動を広げる一助となると考えています。

『福生市総合計画(第5期)』で定めた目指すまちの姿である「人を育み 夢を育む 未来につながるまち ふっさ」の実現に向け、学校・家庭・地域・図書館が一体となって作り上げた読書環境の、より一層の充実を図るための施策の推進に取り組んで参ります。

結びに、『第四次福生市子ども読書活動推進計画』の策定に当たりまして、アンケート調査に多大な御協力と貴重な御意見をいただきました市民の皆様をはじめ、様々な機会を通じての皆様御協力に感謝いたします。



令和3年3月
福生市長 加藤育男

目次

第1章 子ども読書活動の動き	1
1 はじめに	1
2 国の動き	1
3 都の動き	2
4 市の取組	2
第2章 基本的な考え方	4
1 計画の性格	4
2 計画の目標	4
3 計画の期間	4
4 計画の対象	4
第3章 第三次計画の成果と課題	5
1 計画に基づく取組の状況と課題	5
2 第四次計画に向けてのアンケート調査結果	6
第4章 家庭、地域、学校等の役割	25
1 家庭での読書に親しむきっかけづくり	25
2 地域での読書活動の推進	26
3 学校等での読書活動の推進	27
第5章 推進のための取組	29
1 乳幼児(未就学児)を対象とした取組	31
2 小・中学生を対象とした取組	42
3 青少年(ヤングアダルト)を対象とした取組	54
4 特別な支援や配慮を必要とする子どもを対象とした取組	58
5 人材育成のための取組	60
6 情報発信と啓発活動	63
資料編	65
用語集	65
計画策定名簿	67
検討経過	67

第1章 子ども読書活動の動き

1 はじめに

本との出会いは、人が成長し心を育んでいく中で、欠かすことのできない大切な役割を果たします。読書は、いろいろな世界や人びとの多様な考え等を理解し、自らの考えを確かめ、高めることに役立ちます。子どもは読書体験を通して、考える習慣、豊かな感性、創造力、思いやりの心を身に付けることができるのです。

(独)国立青少年教育振興機構の調査※では、読書をしている人はしていない人に比べ「自己理解力」(自己探求・自尊感情・充足感など)、「批判的思考力」(論理的・内省的・問題解決力など)、「主体的行動力」(意欲・将来展望など)のいわゆる意識・非認知能力がいずれも高い傾向にあるとされています。

子どもを取り巻く環境は、少子高齢化や情報化・グローバル化の進展等、大きく変化しています。そのような変化の激しい予測困難な時代において、中央教育審議会より平成28年「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について(答申)」が出され、これを受けて令和2年度から始まった新学習指導要領では、「生きる力 学びの、その先へ」として、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現させる力を育むための指針が示されました。読書は、精査した情報を基に自分の考えを形成し表現する等、変化の時代に必要な資質・能力を育むことにつながるという意味で、ますます重要性が増していると言えます。

福生市は、スマートフォンやタブレット端末の普及等による読書環境の変化を踏まえながら、子どもの興味・関心を尊重し、子どもが自ら読書に親しみ、進んで読書習慣を身に付けていけるよう、家庭・地域・学校等が連携し、子どもの読書活動を推進します。

※子供の頃の読書活動の効果に関する調査研究報告書(速報版)(令和元年)

2 国の動き

国では、『子どもの読書活動の推進に関する法律』に基づき、おおむね5年(2018～2022年度)にわたる子どもの読書活動推進に関する基本方針と具体的方策を明らかにした、第四次『子供の読書活動の推進に関する基本的な計画』が平成30年4月に策定されました。

この計画では、子どもの読書活動の現状分析として、中学生までの読書習慣の形成が不十分であること、高校生になり読書の関心度合いが低下していること等が課題として提起されています。

そこで、「発達段階に応じた取組により、読書習慣を形成」、「友人同士で行う活動等を通じ、読書への関心を高める」という2つをポイントに、家庭・地域・学校等がそれぞれ行う取組が定められています。

また、平成29年に保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、幼稚園教育要領、小学校及び中学校学習指導要領、平成30年に高等学校学習指導要領が公示されました。

新保育所保育指針、新幼保連携型認定こども園教育・保育要領、新幼稚園教育要領では、子どもの幼児期の終わりまでに育てほしい資質・能力のひとつとして、絵本や物語等に親しみながら豊かな言葉や表現を身に付け、自らの経験したことや考えを伝える「言葉による伝え合い」をあげています。

また新学習指導要領では、言語能力の育成を図るために、各学校において必要な言語環境を整えるとともに、国語科を要として各教科等の特質に応じて、言語活動を充実することが規定されました。そして、学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、児童・生徒の自主的、自発的な読書活動を充実することが規定されました。

3 都の動き

都では、平成27年に『第三次東京都子供読書活動推進計画』が策定されました。計画では、「不読率(1か月に1冊も本を読まなかった子どもの割合)の更なる改善」、「読書の質の向上」、「読書環境の整備」の3つの目標が掲げられています。

この計画は「子どもの読書活動の推進に関する法律」第9条第一項の規定に基づく計画です。東京都における子供読書の推進に関する施策の方向性や取組が示されています。

4 市の取組

市では、平成16年度に『第一次福生市子ども読書活動推進計画』を、平成22年度に『第二次福生市子ども読書活動推進計画』を、そして平成27年度に『第三次福生市子ども読書活動推進計画』(以下、『第三次計画』という。)を策定し、家庭・地域・学校等と連携を図りながら、子どもの読書活動の推進に取り組んできました。

そして、第三次計画期間が令和2年度に終了することに伴い、取組の現状と課題を精査し、課題に応じた新たな取組を加えて、令和3年度から令和7年度の5年間を計画期間とする『第四次福生市子ども読書活動推進計画』を策定することとしました。

健康課・子ども育成課・子ども家庭支援課・教育指導課・教育支援課・生涯学習推進課・公民館・図書館の関係8課の職員による、「子ども読書活動推進計画策定委員会及び作業部会」を設置しました。

さらに第三次計画期間の取組状況や新たな取組を把握するため、市内幼稚園・保育施設、小学校、中学校、高等学校、児童館、学童クラブ、ふっさっ子の広場を対象としたアンケート調査を実施しました。また、家庭での読書環境の状況を把握するため、市内幼稚園・保育施設に在園する市在住の4歳児保護者、市立小学校に在学する2年生・5年生の各保護者を対象としたアンケート調査に加え、新たに生徒自身の読書状況を把握するため、市立中学校に在学する2年生を対象にアンケート調査を実施し、第三次計画における課題とアンケート調査結果を基に計画案の検討をすすめ、令和3年3月に本計画の策定に至りました。

第2章 基本的な考え方

1 計画の性格

- ◇ 子どもの読書活動の推進に関する法律第9条に基づく『市町村子ども読書活動推進計画』です。
- ◇ 国の第四次『子供の読書活動の推進に関する基本的な計画』及び都の『第三次東京都子供読書活動推進計画』を基本に、計画を策定、推進します。
- ◇ 『福生市総合計画(第5期)』、『福生市子ども・子育て支援事業計画(第2期)』、『福生市教育振興基本計画第2次』、『福生市立図書館基本計画』等、関連計画との整合性を図り策定します。

2 計画の目標

- ◇ 発達段階に応じた取組による読書習慣の形成
乳幼児期(未就学児)から青少年期(ヤングアダルト)まで、子どもの発達段階に応じて「子どもと本を結びつける」読み聞かせ・おはなし会等の取組、「身近なところで、本に親しむ」環境づくりの取組、「本を読む楽しさ」を広める取組、「本との出会い」を演出する取組を実施し、読書を楽しむきっかけづくりを行うことで、読書習慣の形成を図ります。
- ◇ 家庭、地域、学校、図書館等の連携による読書環境の充実
家庭、地域、幼稚園・保育施設、学校、図書館等が相互に連携することによって読書環境の充実を図ります。
※計画において、「図書館」は「市立図書館」を指します。
- ◇ 読書の大切さへの理解促進、読書への関心の向上
読書が子どもの成長に不可欠で大切なものであるという社会的な合意の醸成を図り、子どもや保護者の読書への関心の向上につなげます。

3 計画の期間

計画の期間は、令和3年度から令和7年度までの5年間です。

4 計画の対象

0歳からおおむね18歳までを対象とします。

第3章 第三次計画の成果と課題

1 計画に基づく取組の状況と課題

(1) 図書館における乳幼児タイムの実施

平成28年度から乳幼児と保護者が、笑い声や泣き声を気にせず、親子で本の世界を楽しむことができるような時間として「乳幼児タイム」を図書館全館で実施しています。

子どもが読書習慣を身に付けるためには、乳幼児期からの読書活動が重要であることから、今後も、乳幼児と保護者が図書館で気兼ねなく絵本や物語に親しむ取組の充実を図る必要があります。

(2) 本に関する情報の積極的な発信

本選びに悩む保護者のために、乳幼児向け絵本の紹介冊子「はじめのいっぽ」を作成し、保健センター、図書館で配布しています。平成28年度には3・4・5歳児向け絵本リスト「すてっぷ」を新たに作成・配布し、併せて図書館に「すてっぷ」で紹介した絵本のコーナーを設置しました。

また、中・高校生の本選びの参考になるよう、図書館、学校司書が連携して、中・高校生向けのすいせん図書リスト「ZANMAI」を作成し、市内全中学校・高等学校に配布しています。

今後は、ホームページでの情報発信の充実、紹介冊子やブックリストの配布先の拡大等の情報発信の拡充が求められます。

(3) 身近なところで本に親しむ機会の充実

幼稚園・保育施設や学校、市内公共施設等では、所蔵している絵本・図書に加え、図書館が貸出を行っている団体図書の活用もあり、子どもにたくさんの本が提供されています。

図書館は、平成28年度には市役所本庁舎1階キッズコーナーにおいて絵本等が閲覧できる「みにみにとしょかん」を設置したほか、令和2年4月から開級した不登校特例校分教室に対して貸出を開始しました。

ほかに、図書館では、市内の幼稚園・保育施設や、学童クラブ、児童館、子ども家庭支援センター等への出前おはなし会を実施しています。子どもの広い興味を引き出すため、小学校、中学校、高等学校を対象にブックトークも行っています。

今後もひとりでも多くの子どもが本に触れ、本の楽しさを知ることができるよう、「図書館おはなしボランティア養成講座」をはじめとした、出前おはなし会等の担い手となる人材の育成や、本に親しむ機会の提供を目的とした取組の推進が必要です。

(4) 調べ学習への支援

図書館では、調べ学習のためのパンフレット「さあ、きみはどうやって調べる？」の配布や、調べもののお手伝いをするレファレンスサービスの提供により、子どもの調べ学習を支援しています。団体を対象とした図書館招待では、おはなし会以外に、希望に応じて図書館の見学や使い方、図書館資料を使用した調べ方を案内します。

学校では、学校図書館担当教員・学校司書を中心に、児童・生徒が調べ学習等に利用できるよう学校図書館の整備を行っているほか、図書館の図書等配本事業を活用し、調べ学習に必要な資料の提供を受けています。

今後も、子どもたちの思考力・判断力・表現力等を育む学習活動や探究活動の支援と、子どもたちが自分自身で図書館を活用することができる能力の育成を図る必要があります。

2 第四次計画に向けてのアンケート調査結果

(1) 調査の概要

① 調査の目的

子どもの自主的な読書活動の推進を図ることを目的とした『第四次福生市子ども読書活動推進計画』策定の基礎資料とするため、「読書活動推進に関するアンケート」及び「子どもの読書に関するアンケート」を実施しました。

② 調査の期間

令和2年7月8日(水)～令和2年7月27日(月)

③ 調査の対象

ア 「読書活動推進に関するアンケート」

市内の幼稚園・保育施設、小学校、中学校、高等学校※、児童館、学童クラブ、ふっさっ子の広場の読書活動推進に関わる職員

※高等学校の調査については、全日制と定時制のある高等学校はそれぞれに調査したため、アンケート結果は3校となります。

イ 「子どもの読書に関するアンケート(保護者調査)」

市内幼稚園・保育施設に在園する市在住の4歳児保護者、及び市立小学校に在学する2年生・5年生の各保護者

ウ 「子どもの読書に関するアンケート(生徒調査)」

市立中学校に在学する2年生

④ 配布・回収の方法

ア「読書活動推進に関するアンケート」

市の事務局が対象施設に配布し、回収を行いました。

イ「子どもの読書に関するアンケート(保護者調査)」

市内幼稚園・保育施設、市立小学校に該当する保護者への配布・回答を依頼し、市の事務局が配布・回収を行いました。

ウ「子どもの読書に関するアンケート(生徒調査)」

市立中学校に在学する2年生への配布・回答を依頼し、市の事務局が配布・回収を行いました。

⑤ 配布・回収数

(小数点第二位以下四捨五入)

調 査 名	配布数 (A)	回収数 (B)	回収率(%) (C) (C=B/A*100)
【読書活動推進に関するアンケート】			
幼稚園・保育施設	20	20	100.0
小学校	7	7	100.0
中学校	3	3	100.0
高等学校	3	3	100.0
児童館・学童クラブ・ふっさっ子の広場	21	21	100.0
【子どもの読書に関するアンケート(保護者調査)】			
幼稚園・保育施設(4歳児保護者)	379	231	60.9
小学校(2年生保護者)	345	237	68.7
小学校(5年生保護者)	396	318	80.3
【子どもの読書に関するアンケート(生徒調査)】			
中学校(2年生)	335	315	94.0

(2) 読書活動推進に関する施設の取組

【幼稚園・保育施設】(20園)

幼稚園・保育施設での読書推進活動は、全ての園で実施されています。全ての園で絵本・紙芝居等を所蔵しており、貸出をしているところもあります。

15園では家庭での読書について、おすすめの本の紹介や読書(読み聞かせを含む)の効果等のパンフレット配布、家読(うちどく)のすすめ等の保護者への働きかけを行っています。

図書館の幼児向けの行事への参加は3割で「参加したことがない」と回答した園が多い一方、「参加したことがない」と回答した園のうち約7割が今後「参加したい」と回答しています。「出前おはなし会」、「団体貸出」といったサービスについても「知らなかった、利用したい」との回答があり、今後図書館がサービスの実施に取り組む必要があります。

幼稚園・保育施設では、自由に手にとり読むことができる充実した絵本コーナーの設置、絵本についての勉強会の開催、絵本の内容に関連した劇の保護者への発表等、様々な読書活動推進事業が実施されていることがわかります。

【小・中学校】(10校)

小・中学校での読書推進活動は、全ての学校で実施されています。全ての学校で朝読書が実施されているほか、小学校では読み聞かせやブックトークも実施されています。

全ての学校で、情報の取扱い方や調べる方法、活用の仕方について熱心な指導が行われており、小・中学校全校で「図書館の使い方」、「事典の使い方」が100%、中学校では、更に「インターネットの使い方」、「安全な情報の利用の仕方」、「正しい情報の探し方」、「個人情報の取扱い方」が100%です。

図書館の学校向けサービスは、小学校では「学級文庫等への団体貸出」、「調べ学習のための本の貸出」、中学校では「ブックトーク」について、全ての学校が利用したことがあると回答しています。

【高等学校】(3校) ※高等学校の調査については、全日制と定時制のある高等学校はそれぞれに調査したため、アンケート結果は3校となります。

市内にある都立福生高等学校(全日制・定時制)、都立多摩工業高等学校は、「第三次東京都子供読書活動推進計画」に基づき、読書推進を目的とした取組を行い、学校図書館の校内における認知度の向上や、読書環境の整備につなげています。

学校では、情報の取扱い方や調べる方法、活用の仕方について指導が行われており、「図書館の使い方」、「正しい情報の探し方」は全校で実施しています。

【児童館】(3館)

児童館での読書推進活動は、全館で実施されています。全館でおはなし会・読み聞かせが実施され、絵本・紙芝居等も所蔵されています。

【学童クラブ】(11クラブ)

学童クラブでの読書推進活動は、全クラブで実施されています。図書館併設の学童クラブでは、おはなし会に参加しています。

【ふっさっ子の広場】(7広場)

ふっさっ子の広場での読書推進活動は、全広場で実施されています。全広場で読み聞かせが実施されています。

※調査年度となりました令和元年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した内容がありますが、例年実施の内容については、実施事業として取扱います。



【子ども家庭支援センターの読書コーナー】



【小学校の図書館利用案内の様子】

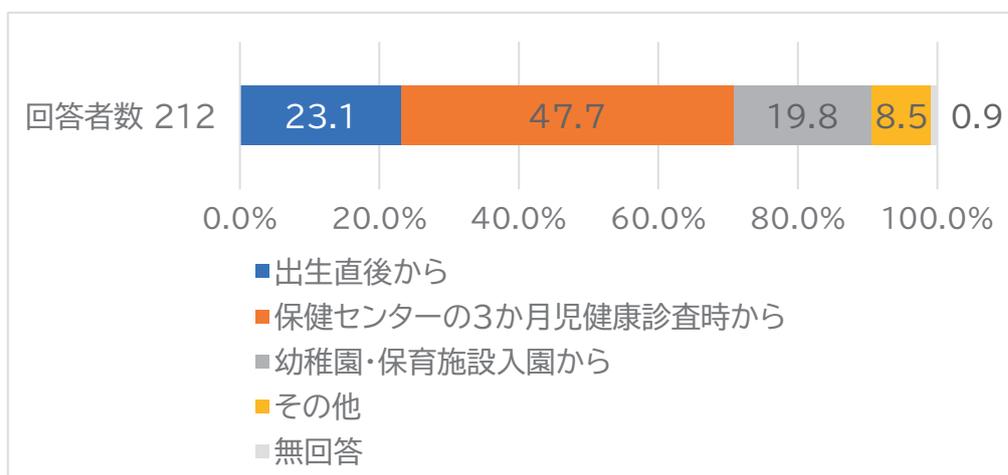
(3) アンケートに基づく課題等のまとめ

◇ 乳幼児を対象とした課題等

◆ 本を好きになるきっかけの充実

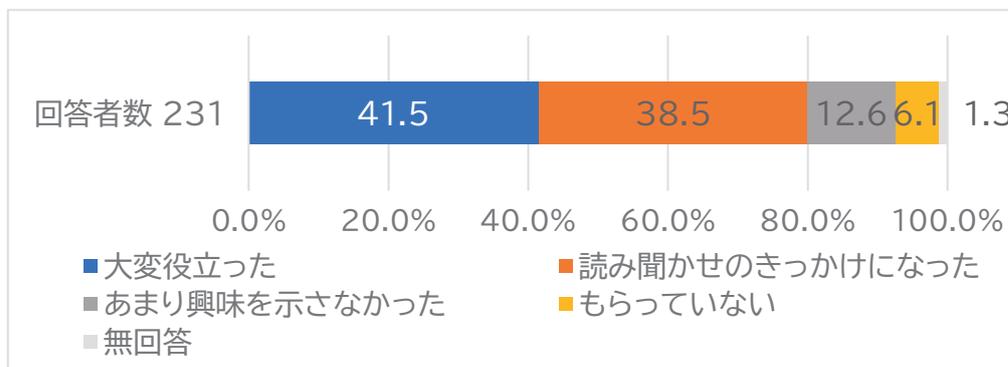
読み聞かせを実施している 91.8%の保護者のうち、約5割にあたる 47.7%が、赤ちゃんはじめての絵本事業を実施している保健センターの3か月児健康診査時から、読み聞かせを開始しています。プレゼントしている絵本についても「大変役立った」41.5%、「読み聞かせのきっかけになった」38.5%と評価されており、市の事業が家庭での読書の推進に役立っていることがわかります。今後もおはなし会の実施等、要望の多い取組を実施する必要があります。

いつ頃から読み聞かせを開始していますか【幼稚園・保育施設(4歳児保護者)】



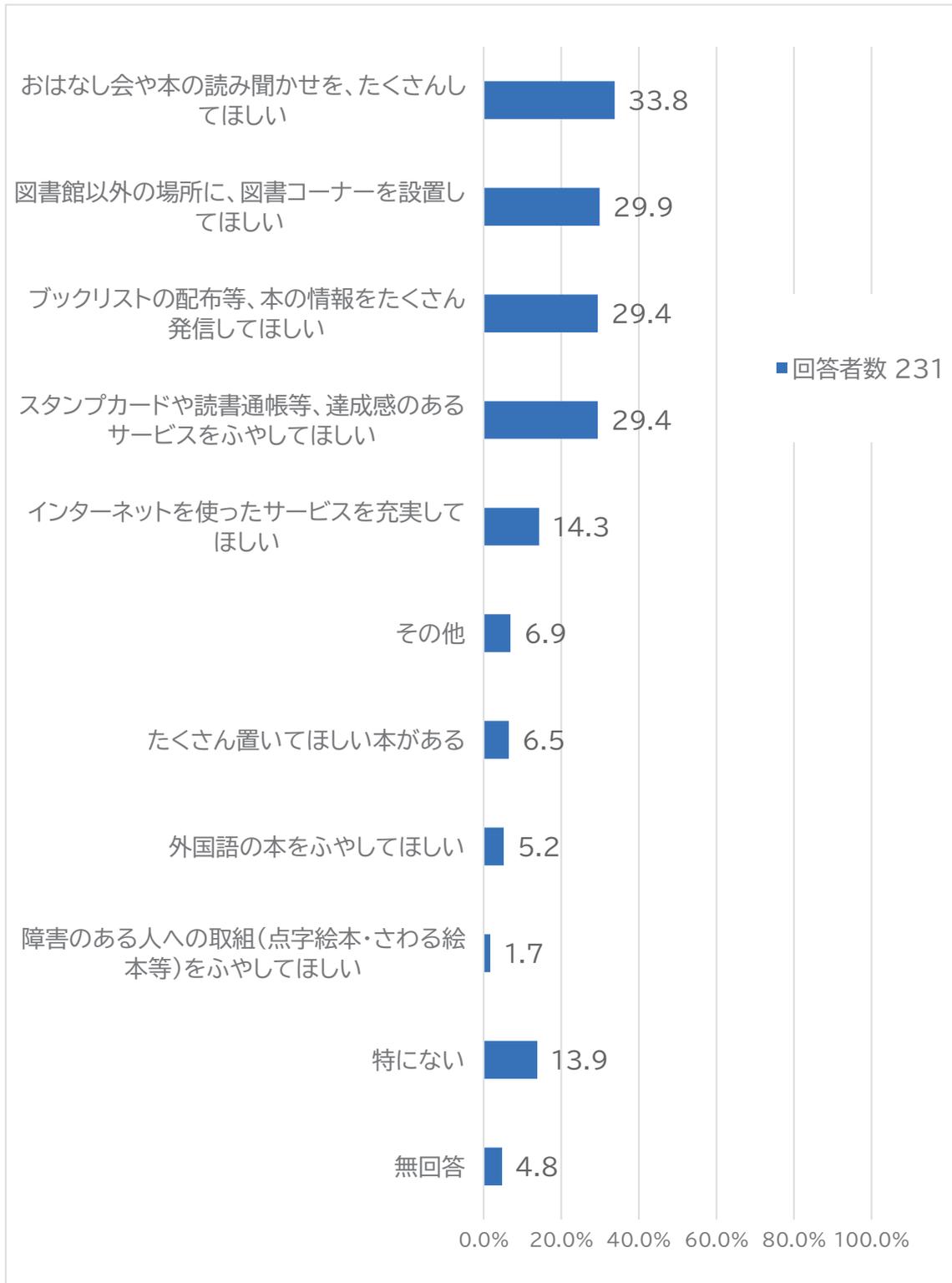
赤ちゃんはじめての絵本事業でプレゼントされた絵本について

【幼稚園・保育施設(4歳児保護者)】



子どもがもっと本を好きになることや、読書に興味を持つために必要なこと

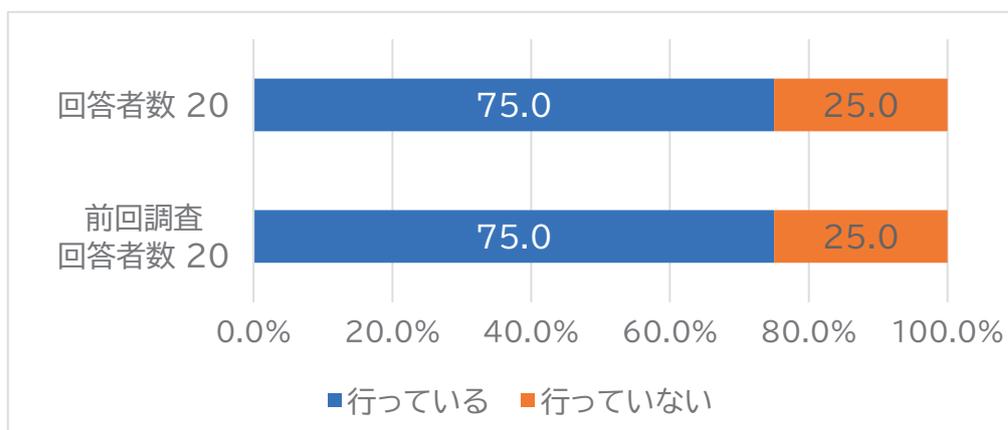
【幼稚園・保育施設(4歳児保護者)】[複数回答可]



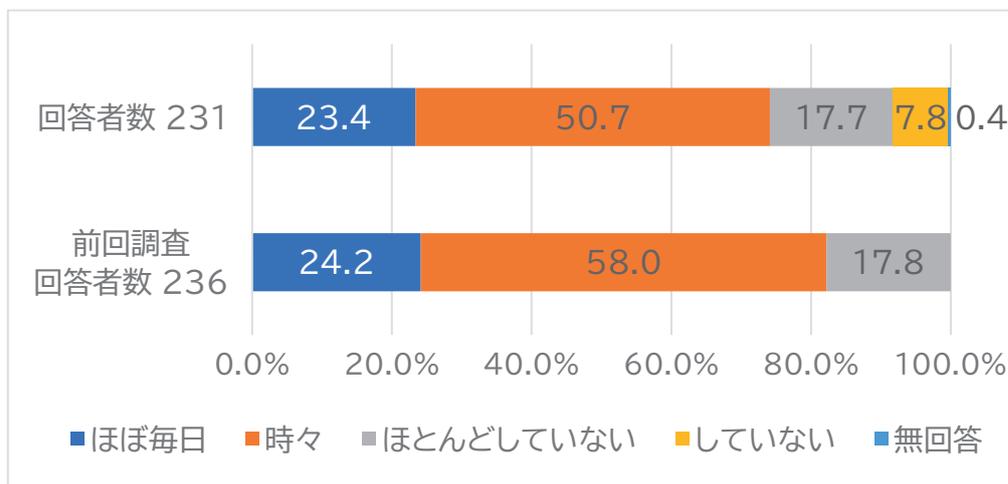
◆ 家庭での読書についての保護者への働きかけ

幼稚園・保育施設の75%で、引き続き家庭での読書について保護者への働きかけが行われていますが、家庭でお子さんに読み聞かせをしている幼稚園・保育施設の4歳児保護者の割合は、平成27年度の前回調査から低下しています(前回調査82.2%→今回調査74.1%)。家庭での読み聞かせのきっかけとなるような事業の充実が必要です。

家庭での読書について、保護者への働きかけの実施【幼稚園・保育施設】



家庭での子どもへの読み聞かせ【幼稚園・保育施設(4歳児保護者)】

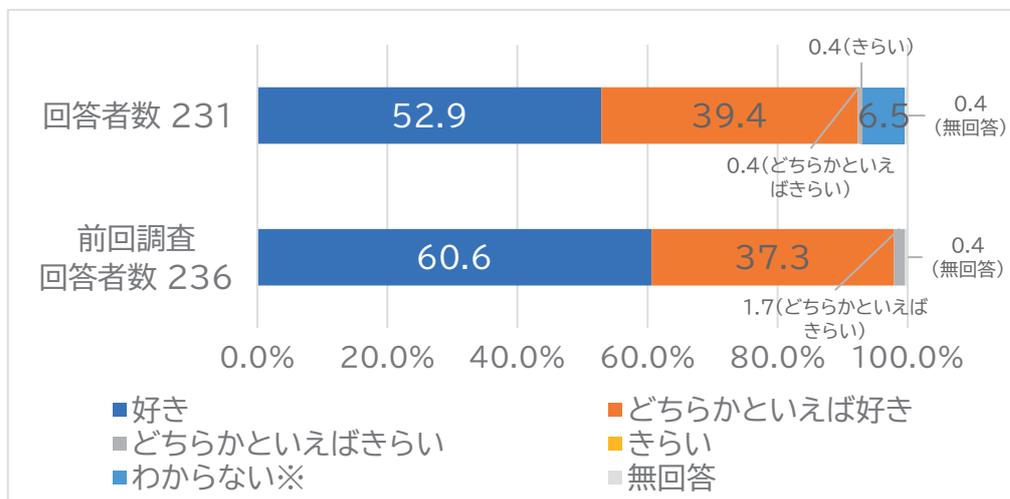


◇小・中学生を対象とした課題等

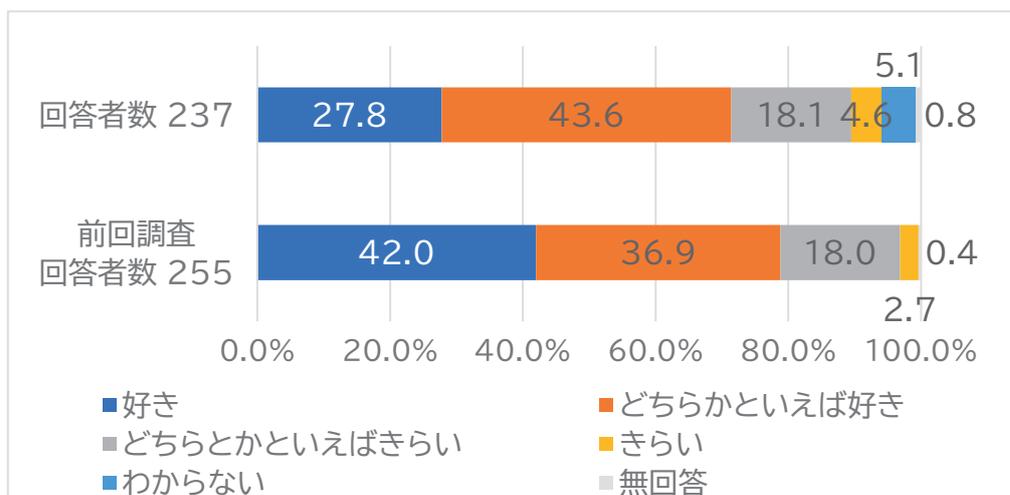
◆ 子どもに本を読むことの楽しさ、面白さを伝える取組

“お子さんは本を読むことが好きですか”という問に「好き」又は「どちらかといえば好き」と回答した割合は、小学校2年生の保護者で71.4%、小学校5年生の保護者で62.9%となっており、平成27年度の前回調査の結果(小学校2年生78.9%、小学校5年生69.3%)から低下しています。特に小学校2年生で「好き」との回答率が大幅に低下(前回調査42.0%から今回調査27.8%)しており、子どもに本を読むことの楽しさ、面白さを伝える取組が求められます。

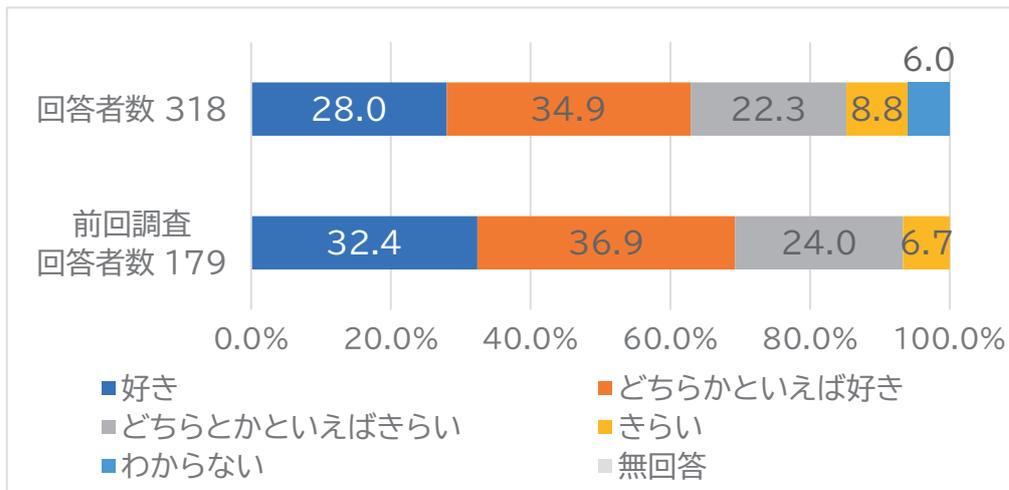
お子さんは本を読むことが好きですか【幼稚園・保育施設(4歳児保護者)】



お子さんは本を読むことが好きですか【小学校2年生保護者】



お子さんは本を読むことが好きですか【小学校5年生保護者】



【科学あそびおたのしみ会の様子】

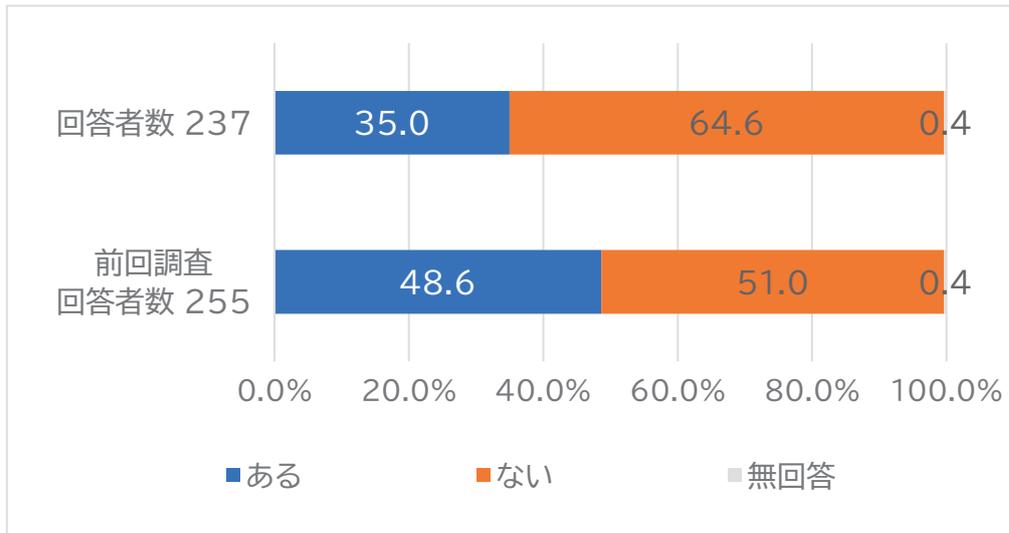


【図書館子ども人形げきの様子】

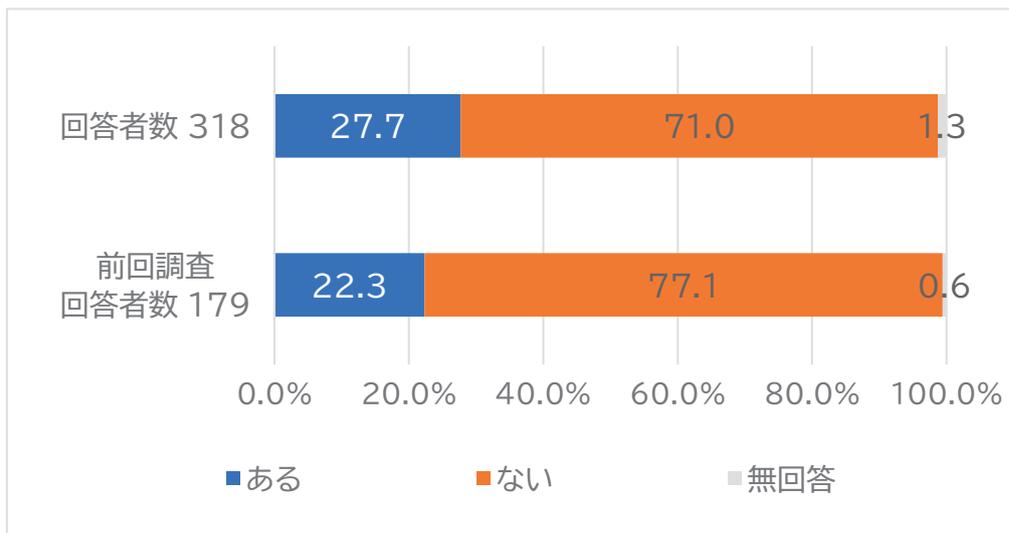
◆ 「家読(うちどく)」の効果のPRや促進のための取組

家族で同じ本を読んで内容や感想を話すという家庭は、小学校2年生の家庭で35.0%、小学校5年生の家庭で27.7%となっています。特に小学校2年生は前回調査の結果(48.6%)から大きく低下しており、「家読(うちどく)」の効果のPRや促進のための取組が課題です。

家族で同じ本を読んで内容や感想を話すことがありますか。【小学校2年生保護者】



家族で同じ本を読んで内容や感想を話すことがありますか。【小学校5年生保護者】

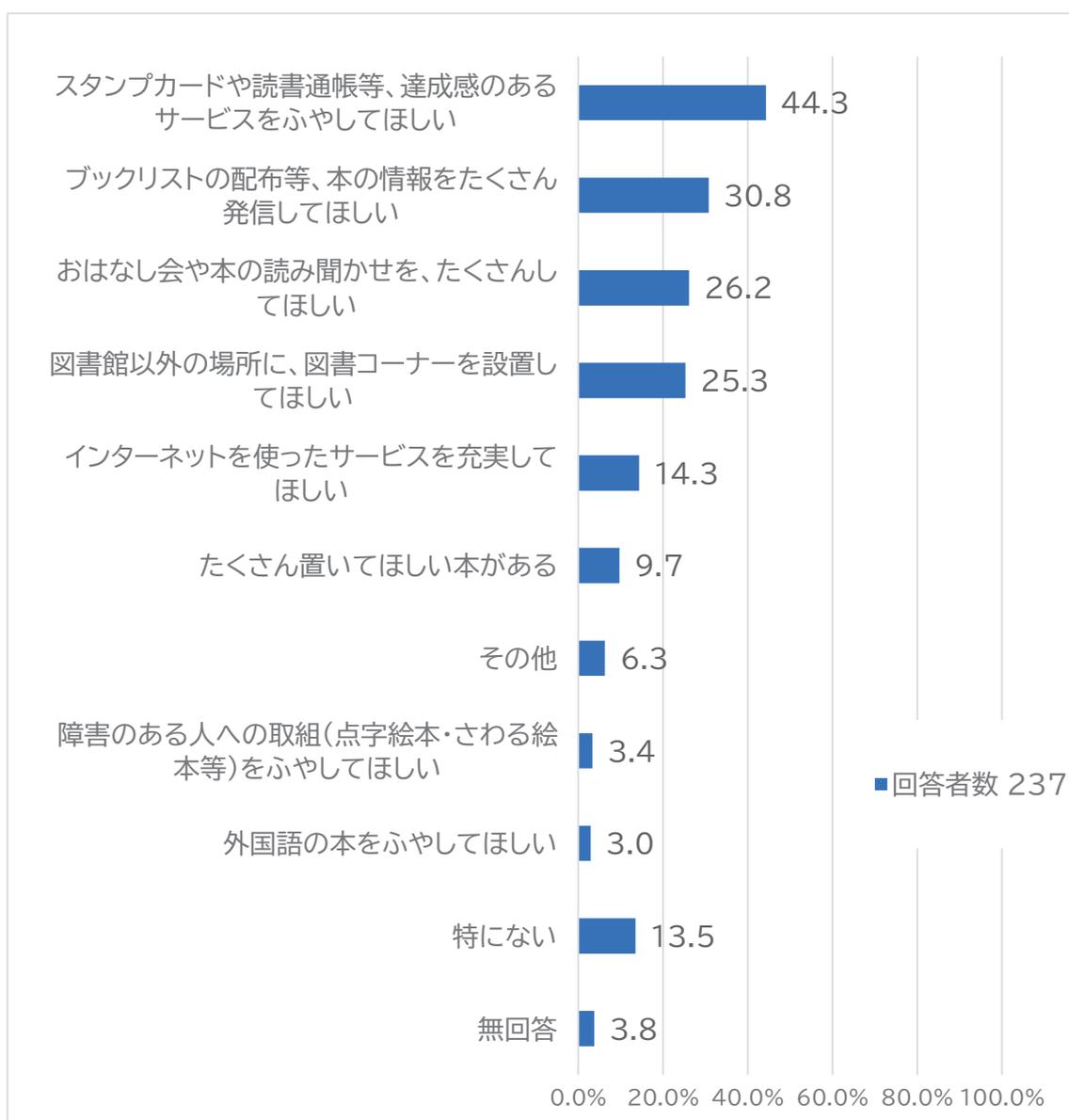


◆ 要望に合わせたサービスの提供

子どもがもっと本を好きになることや、読書に興味を持つために必要なこととして、「スタンプカードや読書通帳等、達成感のあるサービス」、「ブックリストの配布等、本の情報の発信」を求める小学校2年生及び5年生の保護者が多い状況です。また学年が上がるにつれ、「インターネットを使ったサービス」や「外国語の本」を含めた特定の本を求める声が増えています。

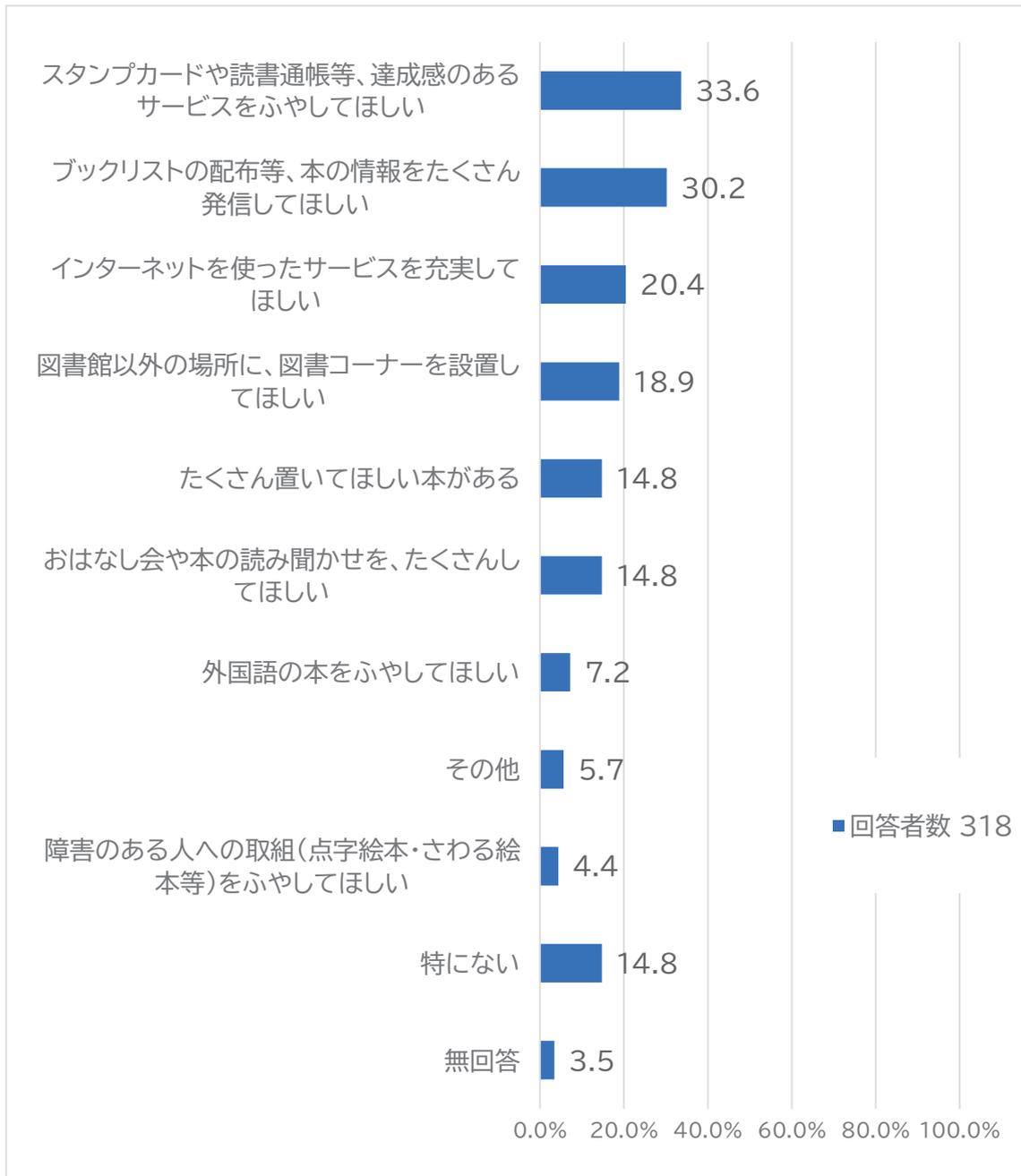
子どもがもっと本を好きになることや、読書に興味を持つために必要なこと

【小学校2年生保護者】[複数回答可]



子どもがもっと本を好きになることや、読書に興味を持つために必要なこと

【小学校5年生保護者】[複数回答可]



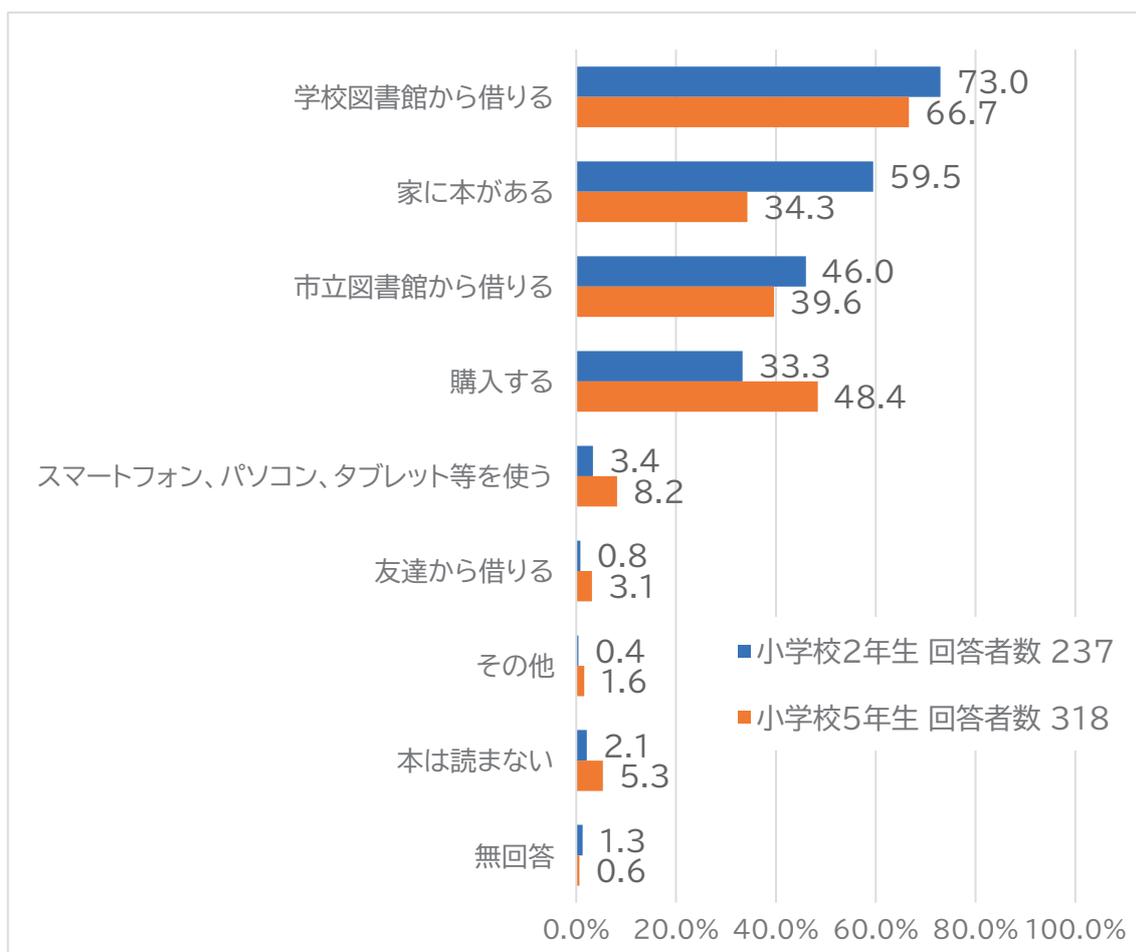
◆ 情報活用能力を育むための取組の充実

市内小・中学校では児童・生徒の主体的・意欲的な学習活動の指導や読書活動の充実のため、学校図書館の活用とその指導計画を作成しています。本を読むことの“好き”、“きらい”に関わらず、小学校2年生、5年生いずれも、本を読むときは「学校図書館から借りる」が最も高く、学校図書館は読書の機会を提供する重要な役割を担っていることがうかがえます。

図書館では、学校図書館への調べ学習支援として本の提供を行っており、学校向けサービスの中でも高い割合で利用されています。

今後も小・中学校と連携し、学校図書館等を通じて調べ学習への対応等、情報活用能力を育むための取組の充実が求められます。

お父さんは、どのようにして本を読んでいますか【小学校2年生・5年生保護者】[複数回答可]

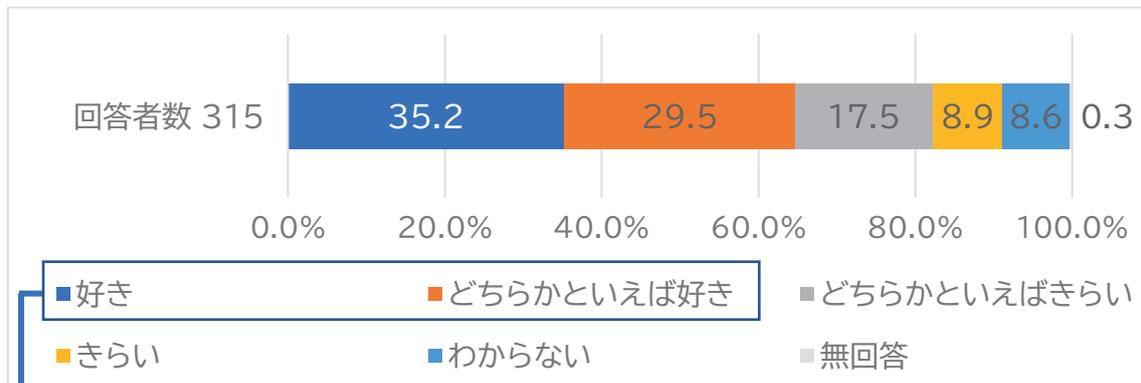


◇青少年(ヤングアダルト)を対象とした課題等

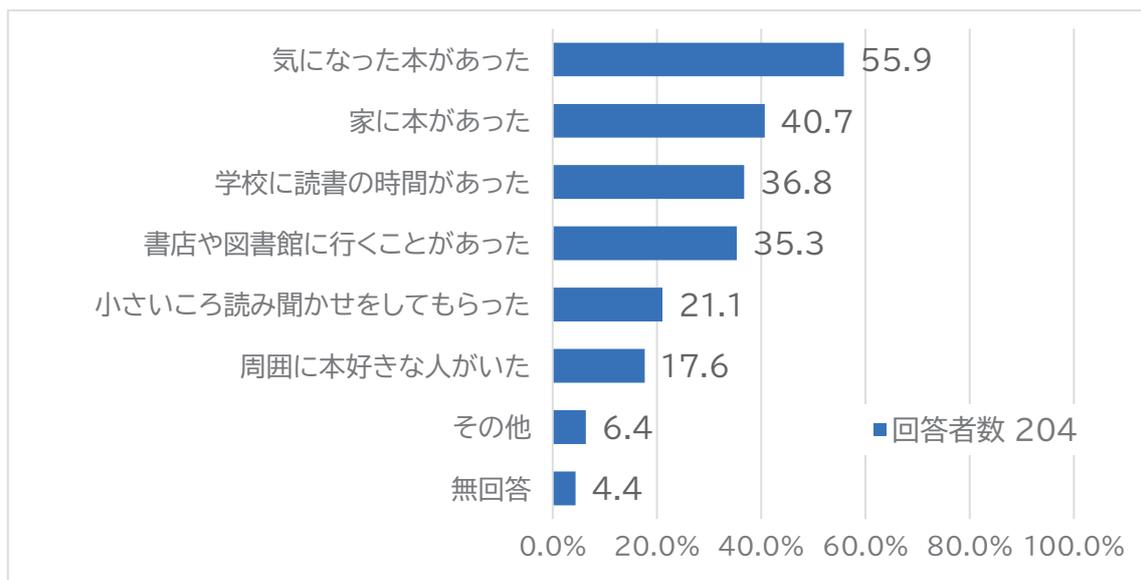
◆ 本を介してコミュニケーションを楽しめるような取組の充実

中学校2年生のうち、本を読むことが「好き」又は「どちらかといえば好き」と回答した割合は、64.7%となっています。好きのきっかけとしては、「気になった本があった」、「家に本があった」が上位2つであり、「学校に読書の時間があった」、「書店や図書館に行くことがあった」の回答も多く、本に関する情報や本に触れる機会の大切さがうかがえる結果となっています。また「小さいころ読み聞かせをもらった」、「周囲に本好きな人がいた」ことも、きっかけとしてあげられており、読書活動の促進に際しては、本を介してコミュニケーションを楽しむことができる取組の充実も求められます。

本を読むことについて【中学校2年生】



好きのきっかけ（「好き」「どちらかといえば好き」という人が回答）[複数回答可]

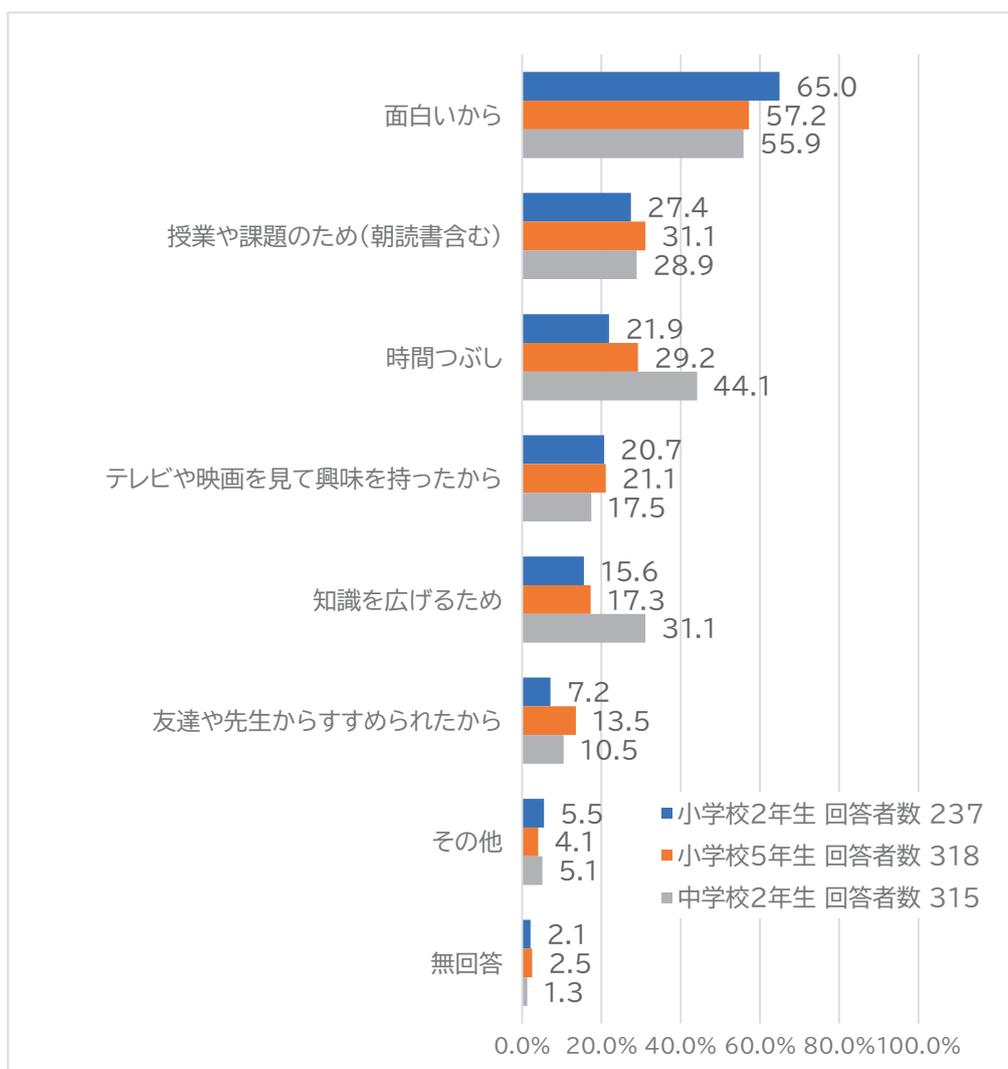


◆ 小学校からの図書館利用の円滑な接続

読書をする理由や図書館を利用する目的についての結果から、小学校から中学校へ上がるに従い、読書についての意識や図書館への利用方法が異なってくるのが分かります。中学生となり環境が変化したことにより、読書への意欲が途絶えてしまわないよう、児童書からの移行を円滑に行うため、ヤングアダルトコーナーの PR 等の情報発信が求められます。

読書をする理由【小学校2年生・小学校5年生・中学校2年生】[複数回答可]

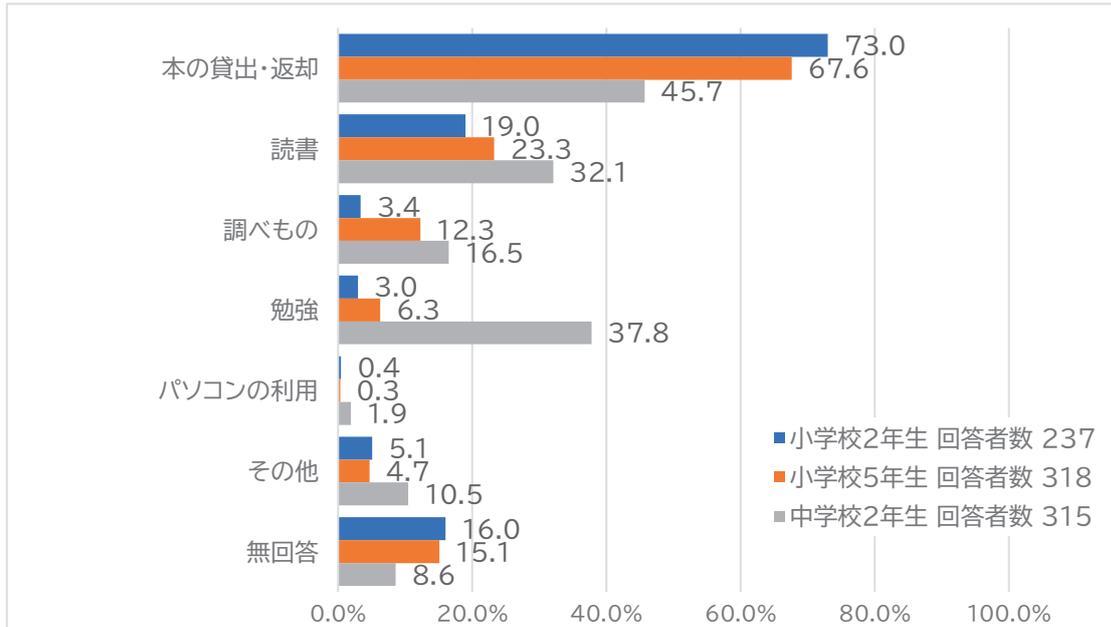
読書をする理由として、「知識を広げるため」と答えた割合は小学校2年生 15.6%、5年生 17.3%、中学校2年生 31.1%となっています。



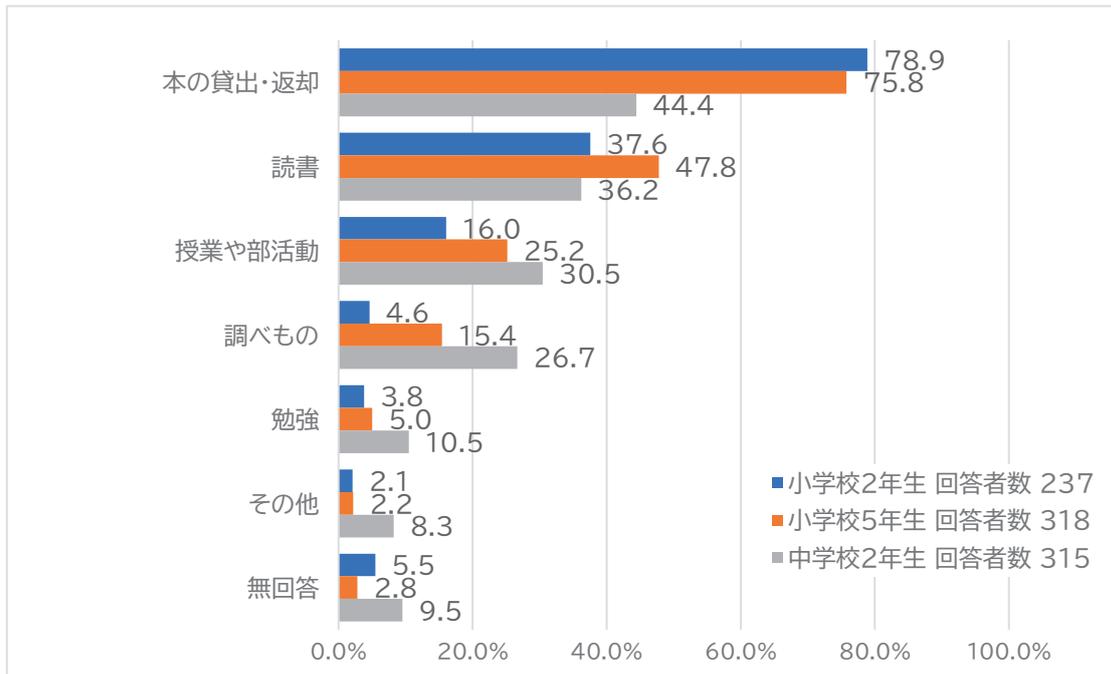
図書館・学校図書館を利用する目的【小学校2年生・小学校5年生・中学校2年生】

図書館・学校図書館を利用する目的について、「調べもの」と答えた割合は、小学校2年生は、図書館 3.4%、学校図書館 4.6%、小学校5年生は、図書館 12.3%、学校図書館 15.4%、中学校2年生は図書館 16.5%、学校図書館 26.7%となっています。

《図書館の利用目的》[複数回答可]



《学校図書館の利用目的》[複数回答可]



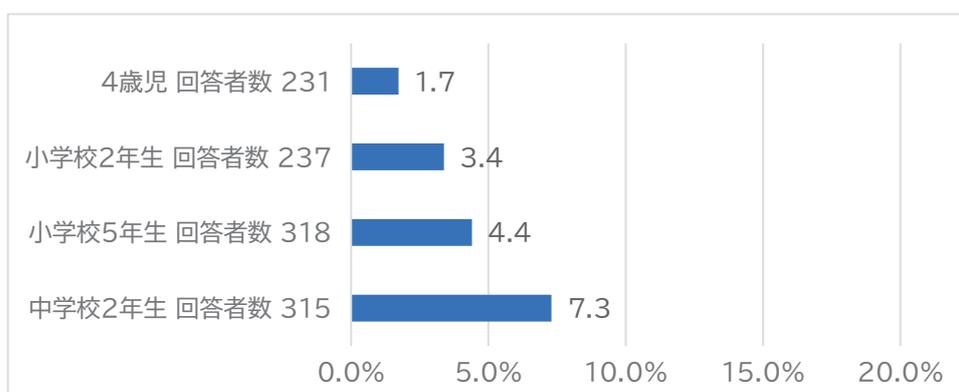
◇特別な支援や配慮を必要とする子どもを対象とした課題等

◆ 全ての子どもが読書に親しむことができるような環境づくり

保護者及び児童・生徒へのアンケートにおいては、どの世代においても「障害のある人への取組」、「外国語の本の充実」の要望があげられています。年齢層が上がるにつれ要望は増える傾向にあり、中学校2年生では約1割の生徒が「障害のある人への取組(点字や字の大きな本等)」と「外国語の本の充実」を要望しています。全ての子どもが読書に親しむことができるような環境づくりが必要です。

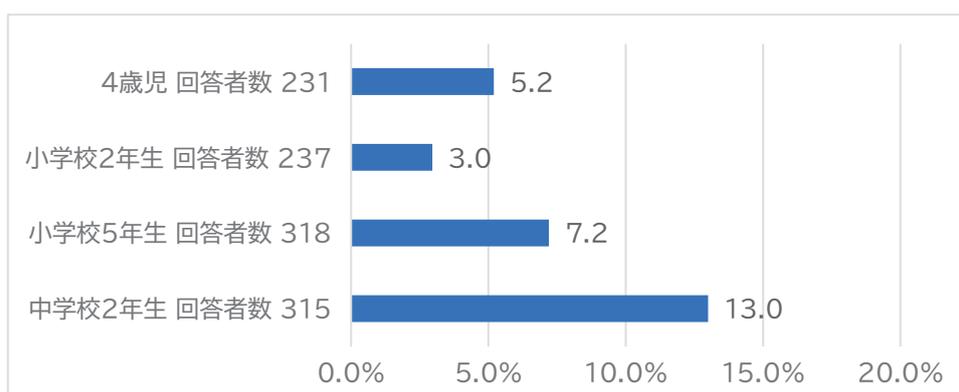
障害のある人への取組(点字絵本・さわる絵本等)を増やしてほしいという割合

【小学校2年生・小学校5年生・中学校2年生】



外国語の本を増やしてほしいという割合

【小学校2年生・小学校5年生・中学校2年生】

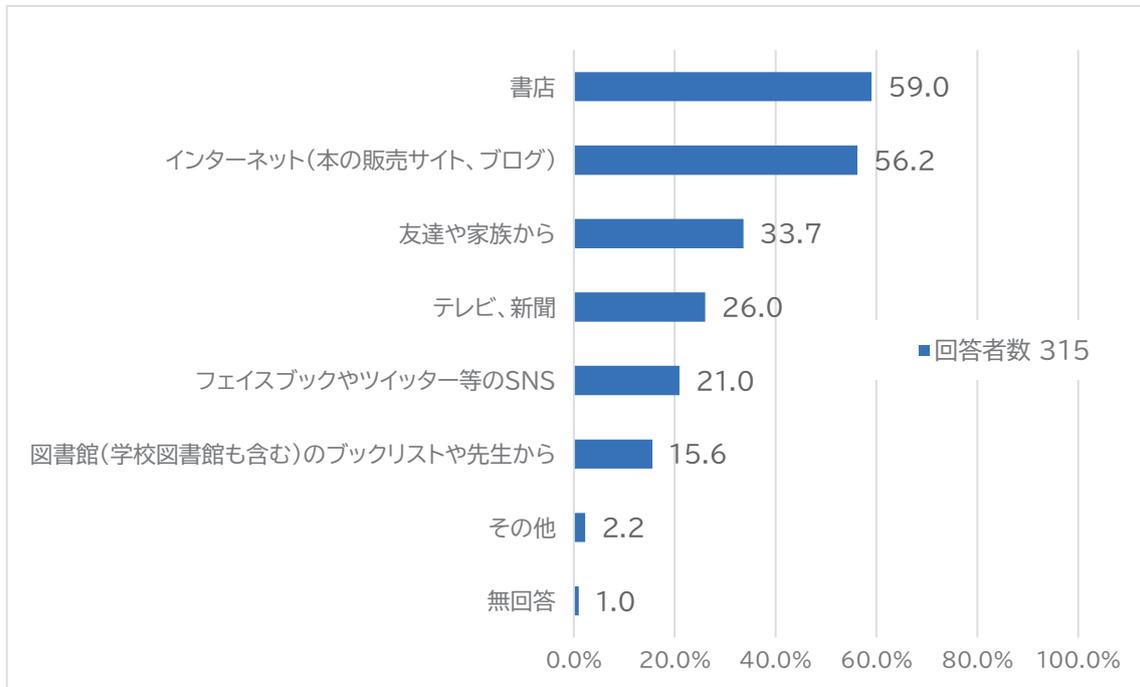


◇人材育成の課題等

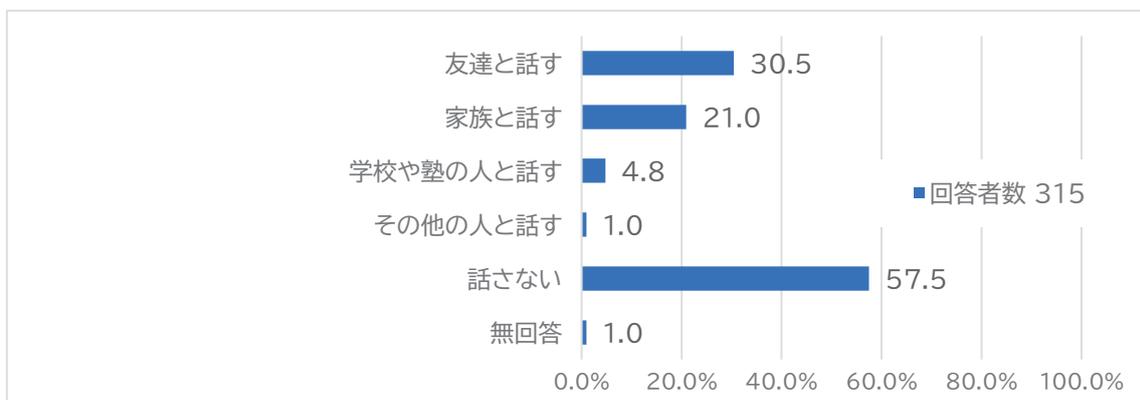
◆ 同年代からの働きかけの実施

本に関する情報の入手先は、中学校2年生では「書店」、「インターネット(本の販売サイト、ブログ)」に次いで、「友達や家族から」が多くなっています。また、中学校2年生の約3割が同じ本を読んで内容や感想を「友達と話す」と回答しており、この年代では「家族と話す」よりも割合が高くなっています。このため、読書について同年代からの働きかけを促進するような取組が求められます。

自分が読む本の情報の入手先【中学校2年生】[複数回答可]



家族や友達と、同じ本を読んで内容や感想を話すこと【中学校2年生】[複数回答可]



◇情報発信と啓発活動の課題等

◆ 発達段階に応じた啓発事業の実施

多種多様な娯楽にあふれ、情報環境も大きく変化していく状況において、読書活動を推進するに際し、読書への関心の継続を目的とした事業の実施が求められます。

乳幼児期においては赤ちゃんはじめての絵本事業、小学生においては要望に合わせたサービスの提供や情報活用能力を育む取組、中学生においてはコミュニケーションを楽しめるような取組等、発達段階に沿った効果的な啓発事業を実施します。



【図書館の「すてっぷコーナー」】



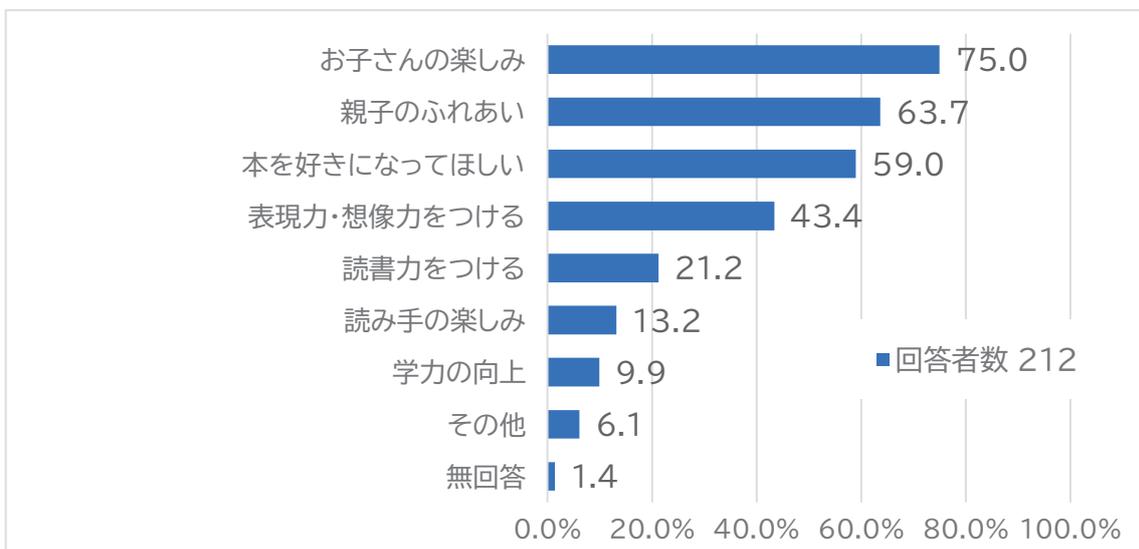
【小学校での出前ブックトークの様子】

第4章 家庭、地域、学校等の役割

1 家庭での読書に親しむきっかけづくり

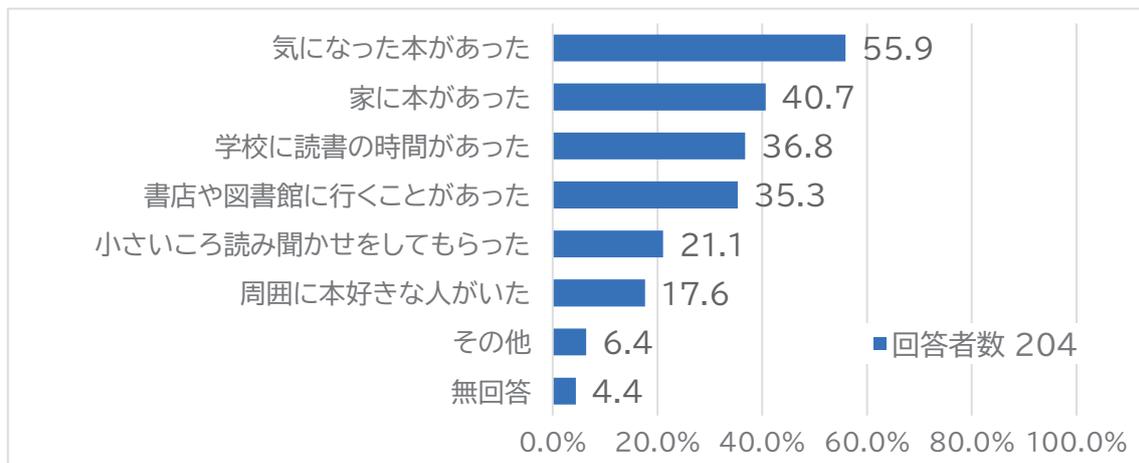
4歳児保護者のアンケート調査によると、多くの保護者は「お子さんの楽しみ」、「親子のふれあい」等の家庭でのコミュニケーションとしての役割と併せて、「本を好きになってほしい」との気持ちから読み聞かせをしていることがわかります。

読み聞かせをしている保護者の目的【4歳児保護者】[複数回答可]



中学校2年生のアンケート調査では、好きになったきっかけとして、「気になった本があった」に次いで、「家に本があった」ことをあげた生徒が約4割にのぼりました。

本が好きな生徒の、好きになったきっかけ【中学校2年生】[複数回答可]



家庭は、子どもにとって最も落ち着く安らぎの場であり、身近な読書をする場でもあります。乳幼児期から本に親しみ、読書が生活の中で習慣化していくような家庭環境づくりを推奨します。

【家庭での推進】

- ◇ 絵本を通した子どもとの温かなコミュニケーション
- ◇ 子どもの発達に沿った絵本選び
- ◇ 家族間での本の内容に関連した会話による、子どもの読書に対する興味の向上
- ◇ 子どもの手が届くところへの、本の設置
- ◇ 図書館や書店への来訪による、子どもが本に触れる機会の促進
- ◇ 学校や図書館で配布するブックリストを参考にした本選び
- ◇ 図書館、公民館、児童館、子ども家庭支援センター、保健センター、書店等で行われている、おはなし会への参加
- ◇ 子どもの読書に関する講演会や学習会等への参加、家庭での取組への反映

2 地域での読書活動の推進

子どもにとって、身近な場所である地域での本に親しむことができる環境づくりは大切です。地域活動の中で子どもの読書活動を推進することは、家庭での読書を助けることにもつながります。地域での読書活動の充実のため、図書館等と協働した取組を推奨します。

【地域での推進】

- ◇ 子どもの読書活動への関心を深めるため、市との協働等による身近な場で本に触れられる機会や場の提供
- ◇ 子育てグループ等での絵本の読み聞かせ、子どもの読書についての情報交換（絵本の選び方等）
- ◇ おはなしボランティア、読書ボランティア及び図書館ボランティア等を活用した、おはなし会等の本を介した交流を生み出すイベントの開催

3 学校等での読書活動の推進

乳幼児期に読書の楽しさに触れることができるよう、幼稚園・保育施設では、新保育所保育指針、新幼保連携型認定こども園教育・保育要領、新幼稚園教育要領に基づき、乳幼児が絵本や物語に親しむ活動を積極的に行うことが期待されます。

また、学校では、学校教育法及び新学習指導要領に基づき、全ての児童・生徒が自由に読書を楽しみ、読書の幅を広げていくことができるよう、適切な支援と環境を整備することが求められています。

【学校等での読書活動の推進】

- ◇ 幼稚園・保育施設において、絵本や物語に親しむ機会を確保
- ◇ 学校において、児童・生徒の自主的、自発的な読書活動を定着させるための、図書館・学校図書館の計画的な活用
- ◇ 学校において、児童・生徒の一人1台端末を活用した情報の収集、必要な資料の選択等、レファレンス機能を強め、図書館・学校図書館の利用を推進
- ◇ 学校において、児童・生徒が相互に図書を紹介し、様々な分野の図書に触れる活動として、図書委員によるおすすめ本の紹介、スタンプラリー、図書集会、ブックトーク、書評合戦(ビブリオバトル)等の子ども同士で行う活動の推進
- ◇ 児童・生徒の利用しやすい読書環境を推進するために、コミュニティ・スクール委員会等を活用した地域人材との連携による学校図書館の活性化



【図書館出前おはなし会「ぶっくん」の様子】

図書館ボランティア
によるイベントの開催



【こどもの読書週間おはなし会の様子】

第5章 推進のための取組

【推進取組体系図】

☆第四次新規事業 ◎第四次拡充事業

計画の目標	事業NO	事業名	頁	事業NO	事業名	頁	
1 乳幼児(未就学児)を対象とした取組							
(1)「子どもと本を結びつける」読み聞かせ・おはなし会等の取組	1-1	児童館でのおはなし会	31	1-6	図書館での乳幼児おはなし会	33	
	1-2	幼稚園・保育施設での子ども読書活動推進事業	31	1-7	◎ 図書館での乳幼児タイムおはなし会	33	
	1-3	子ども家庭支援センター出前おはなし会	32	1-8	出前おはなし会	33	
	1-4	出張わくわく図書館	32	1-9	出前講座	34	
	1-5	「公民館保育室併設講座」での読み聞かせ	32				
(2)「身近なところで、本に親しむ」環境づくりの取組	1-10	保健センターでの本の充実	34	1-13	公民館本館・公民館松林分館・公民館白梅分館での絵本の閲覧	35	
	1-11	児童館での本の充実	34	1-14	市役所本庁舎での本の充実	35	
	1-12	子ども家庭支援センターでの本の充実	35	1-15	図書館での乳幼児タイムの実施	36	
(3)「本を読む楽しさ」を広める取組	1-16	保健センターの「パパママクラス」でのPR	36	1-22	子ども読書の日及びこどもの読書週間事業	38	
	1-17	保健センターの「すくすくベビークラス」でのおはなし会	36	1-23	子ども読書推進イベント	38	
	1-18	赤ちゃんはじめての絵本事業	37	1-24	夏休みイベント	39	
	1-19	乳幼児向け絵本の紹介冊子「はじめてのいっぽ」の配布	37	1-25	絵本原画展	39	
	1-20	◎ 3～5歳児向け絵本の紹介冊子「すてっぷ」の配布	37	1-26	人形劇	39	
(4)「本との出会い」を演出する取組	1-21	図書館見学・図書館招待の実施	38	1-27	◎ 家読(うちどく)のすすめ事業	40	
	1-28	図書館での「赤ちゃん絵本コーナー」の設置・提供	40	1-30	図書館での「すてっぷコーナー」の設置・提供	41	
	1-29	図書館での「読み聞かせ絵本コーナー」の設置・提供	40	1-31	図書館での絵本・おすすめ本の展示	41	
2 小・中学生を対象とした取組							
(1)「子どもと本を結びつける」読み聞かせ・おはなし会・ブックトーク等の取組	2-1	小学校での読み聞かせや本の紹介	42	2-5	松林分館での絵本の読み聞かせ	43	
	2-2	学童クラブでの読み聞かせ	42	2-6	としょかん出前おはなし会「ぶっくん」	44	
	2-3	図書館のおはなし会への参加	43	2-7	出前ブックトーク(小・中学校)	44	
	2-4	ふっさっ子の広場での読み聞かせ	43	2-8	出前おはなし会	44	
(2)「身近なところで、本に親しむ」環境づくりの取組	2-9	利用しやすい学校図書館の実現	45	2-13	調べ学習への指導・援助	46	
	2-10	学校での団体貸出の利用	45	2-14	学童クラブでの図書コーナーの充実	46	
	2-11	学校図書館の本の充実	45	2-15	ふっさっ子の広場での本の充実	47	
	2-12	学校図書館相互貸借事業	46	2-16	学校図書館への配本事業	47	
(3)「本を読む楽しさ」を広める取組	2-17	朝読書の実施	47	2-26	「一日図書館員」の実施	50	
	2-18	読書週間事業の実施	48	2-27	☆ 読んだ本を記録する「読書ノート」の作成・配布	51	
	2-19	図書館見学・図書館招待の実施(小学校)	48	2-28	子ども読書の日及びこどもの読書週間事業(再掲1-22)	51	
	2-20	学校図書館機能の計画的な活用	48	2-29	子ども読書推進イベント(再掲1-23)	51	
	2-21	図書委員会活動の充実	49	2-30	夏休みイベント(再掲1-24)	51	
	2-22	小学生向けすいせん図書リストの作成・配布	49	2-31	絵本原画展(再掲1-25)	51	
	2-23	「としょかんだより いちねんせい」の配布	49	2-32	人形劇(再掲1-26)	51	
	2-24	「さあ、きみはどうやって調べる？」の配布	50	2-33	◎ 家読(うちどく)のすすめ事業(再掲1-27)	51	
2-25	☆ パスファインダーの作成・公開	50					
(4)「本との出会い」を演出する取組	2-34	学校図書館での本の展示	52	2-38	図書館での「教科書掲載図書コーナー」の設置・提供	53	
	2-35	学校図書館のわかりやすい配架の工夫	52	2-39	◎ 外国語図書のPR	53	
	2-36	図書館での「新しいねんせいコーナー」の設置・提供	52	2-40	図書館での「読み聞かせ絵本コーナー」の設置・提供(再掲1-29)	53	
2-37	図書館での「すいせん図書コーナー」の設置・提供	53	2-41	図書館での絵本・おすすめ本の展示(再掲1-31)	53		
3 青少年(ヤングアダルト)を対象とした取組							
(1)「子どもと本を結びつける」ブックトーク等の取組	3-1	出前ブックトーク(高等学校)	54	3-2	◎ 対話型読書活動の推進	54	
	(2)「身近なところで、本に親しむ」環境づくりの取組	3-3	☆ 新中学1年生を対象としたヤングアダルトコーナーのPR	55			
		3-4	中・高校生向けすいせん図書リスト「ZANMAI」の作成・配布	55	3-7	☆ 「ジュニア司書養成講座」の開催	56
		3-5	ヤングアダルト向け新聞の発行	55	3-8	☆ パスファインダーの作成・公開(高校生)	56
(3)「本を読む楽しさ」を広める取組	3-6	職場体験・ボランティア体験の受け入れ	56				
	3-9	☆ ヤングアダルト課題解決コーナーの設置	57				
(4)「本との出会い」を演出する取組	4-1	特別支援学級への団体貸出の実施	58	4-3	図書館での「多言語絵本のコーナー」の設置・提供	58	
	4-2	病院サービス(小児病棟)	58	4-4	◎ 障害者サービスの充実	59	
4 特別な支援や配慮を必要とする子どもを対象とした取組							
5 人材育成のための取組	5-1	学校図書館担当教員の研修会	60	5-6	図書館児童担当職員研修	61	
	5-2	学校司書配置事業	60	5-7	「図書館おはなしボランティア」養成講座	62	
	5-3	学校図書館運営連絡会	60	5-8	読み聞かせのための大型絵本、おはなし会用グッズの貸出	62	
	5-4	学校司書打合せ	61	5-9	☆ 「ジュニア司書養成講座」の開催(再掲3-7)	62	
	5-5	学校図書館ボランティアの活用	61				
6 情報発信と啓発活動							
6 情報発信と啓発活動	6-1	公民館サークルへの情報提供	63	6-3	発達段階に応じた啓発活動の実施	64	
	6-2	図書館ホームページの充実	63	6-4	子ども読書活動等に関する調査	64	

1 乳幼児(未就学児)を対象とした取組

【推進目標】

絵本を開き、語りかけてもらう喜びは、乳幼児にとってかけがえのないひとときです。その声から確かなコミュニケーションを感じとり、二人の間に築かれる信頼感は、将来にわたる人格形成の基礎になります。乳幼児期から本に親しみ、豊かな心が育つよう、子どもと本との触れ合いを支援します。

【推進事業(31事業)】

※令和元年度実績については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した内容があります。

(1)「子どもと本を結びつける」読み聞かせ・おはなし会等の取組

事業NO	事業名	所管課	実施区分
1-1	児童館でのおはなし会	子ども育成課 (児童館)	継続
事業内容及び方針			
乳幼児対象事業の実施時に、絵本の読み聞かせ、パネルシアター、紙芝居等、読書の楽しみを知るためのおはなし会を実施します。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
おはなし会の実施頻度	田園児童館 おはなしの日を毎週実施 熊川児童館 幼児事業で毎週実施 武蔵野台児童館 月1回実施	各児童館で週1回実施	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
1-2	幼稚園・保育施設での子ども読書活動推進事業	子ども育成課 (幼稚園・保育施設)	継続
事業内容及び方針			
保育の一環として、絵本の読み聞かせ等を行い、本の楽しさを伝えるほか、保護者に対しては幼児期における読書の重要性を伝えます。また、人形劇等を行う時に、地域の子どもを招待して物語の楽しさを伝えます。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
絵本・紙芝居等の所蔵園数	20園 (全幼稚園・保育施設)	20園 (全幼稚園・保育施設)	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
1-3	子ども家庭支援センター出前おはなし会	子ども家庭支援課 図書館	継続
事業内容及び方針			
子ども家庭支援センターに、図書館職員や図書館おはなしボランティアが出向き、おはなし会を実施します。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
おはなし会の実施回数	9回	12回	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
1-4	出張わくわく図書館	子ども家庭支援課 図書館	継続
事業内容及び方針			
図書館と連携し、図書館おはなしボランティアによる読み聞かせや絵本の紹介事業「出張わくわく図書館」を実施します。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
おはなし会の実施回数	10回	12回	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
1-5	「公民館保育室併設講座」での読み聞かせ	公民館	継続
事業内容及び方針			
保護者に子どもの読書活動の重要性を伝えるとともに、子どもの読書活動のきっかけづくりとして、保育室で過ごす乳幼児を対象に、年齢に応じた絵本を選定し、読み聞かせを実施します。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
講座実施数	保育室併設講座 3コース 託児保育付講座 5コース	公民館各館で保育室講座を年1コース以上実施	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
1-6	図書館での乳幼児おはなし会	図書館	継続
事業内容及び方針			
乳幼児と保護者のためのおはなし会を、各館月1回実施します。絵本の読み聞かせ、わらべうた、手遊び等、家庭でも子どもと一緒に楽しめるようなプログラムを構成し、実施します。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
おはなし会の実施回数	中央図書館 11回 わかぎり図書館 10回 わかたけ図書館 11回 武蔵野台図書館 11回	月1回 4館(全館)	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
1-7	図書館での乳幼児タイムおはなし会	図書館	拡充
事業内容及び方針			
おはなし会の実施のない乳幼児タイムについて、乳幼児と保護者のためのおはなし会を実施します。読書相談の実施についても検討します。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
おはなし会の実施回数	武蔵野台図書館 34回	中央図書館・武蔵野台図書館 年50回	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
1-8	出前おはなし会	図書館	継続
事業内容及び方針			
幼稚園・保育施設、児童館等に、図書館職員や図書館おはなしボランティアが出向き、おはなし会を実施します。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
実施施設数	6園(幼稚園・保育施設)	10施設	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
1-9	出前講座	図書館	継続
事業内容及び方針			
乳幼児を対象とした楽しい絵本の紹介や、読み聞かせへの取り組み方について、出前講座を実施します。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
実施講座数	1回	1回	

(2)「身近なところで、本に親しむ」環境づくりの取組

事業NO	事業名	所管課	実施区分
1-10	保健センターでの本の充実	健康課	継続
事業内容及び方針			
乳幼児の絵本等を置き、予防接種や健康診査時に保護者等が利用できるようにします。事業の待ち時間に乳幼児が保護者と楽しめる本の充実を図ります。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
絵本等の所蔵冊数	368冊	368冊	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
1-11	児童館での本の充実	子ども育成課 (児童館)	継続
事業内容及び方針			
子どもが面白いと思う本の購入と、気軽に読書ができる場所の提供を行います。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
絵本等の所蔵冊数	3児童館合計 40冊	各児童館で平均年40冊	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
1-12	子ども家庭支援センターでの本の充実	子ども家庭支援課	継続
事業内容及び方針			
子育て中の親子が集い、交流していく中で、絵本を中心とした本を置き、親子のふれあいを通して、読書の楽しさ、大切さを育みます。図書館の団体貸出を活用し、子どもがより興味を抱くような内容のものを入れ替えるなど、継続して実施します。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
図書館からの団体貸出冊数	199冊	300冊	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
1-13	公民館本館・公民館松林分館・公民館白梅分館での絵本の閲覧	公民館	継続
事業内容及び方針			
子どもの読書活動の重要性を伝えるとともに、子どもの読書のきっかけづくりとして、保育室に設置された絵本の閲覧を行います。図書館と連携して、購入や団体貸出の活用を図ります。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
絵本等の所蔵冊数	公民館本館 約100冊 松林分館 約100冊 白梅分館 約50冊	公民館本館 約100冊 松林分館 約100冊 白梅分館 約50冊	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
1-14	市役所本庁舎での本の充実	図書館	継続
事業内容及び方針			
市役所本庁舎1階キッズコーナー等に絵本を中心とした本を置き、手続きで市役所に訪れた乳幼児と保護者を対象に、本と触れ合える場を提供します。定期的に本の入れ替えを実施し、継続します。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
絵本等の設置冊数	400冊	500冊	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
1-15	図書館での乳幼児タイムの実施	図書館	継続
事業内容及び方針			
乳幼児と保護者が気兼ねなく図書館を利用できる時間を「乳幼児タイム」とし、図書館全館で週1回、祝祭日を除いて実施します。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
乳幼児タイムの実施回数	週1回 4館(全館)	週1回 4館(全館)	

(3)「本を読む楽しさ」を広める取組

事業NO	事業名	所管課	実施区分
1-16	保健センターの「パパママクラス」でのPR	健康課 図書館	継続
事業内容及び方針			
「パパママクラス」は、これから親になる方のための母子保健事業です。初めてのパパ、ママに、乳幼児への絵本の読み聞かせの大切さをお話するため、お子さん連れの先輩パパ、ママに、子育てについての経験談を語っていただくとともに、図書館職員による読み聞かせの実演を行います。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
絵本の読み聞かせ 実施回数	5回	6回	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
1-17	保健センターの「すくすくベビークラス」でのおはなし会	健康課 図書館	継続
事業内容及び方針			
「すくすくベビークラス」(おすわりのころ)は、6か月～1歳頃のお子さんと保護者向けの母子保健事業です。手遊びや読み聞かせに、興味を示すようになったお子さんと、一緒に楽しめるおはなし会を実施します。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
すくすくベビークラス 実施回数	3回	3回	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
1-18	赤ちゃんはじめての絵本事業	健康課 子ども育成課 図書館	継続
事業内容及び方針			
健康課、子ども育成課、図書館が連携して、3か月児健康診査時に絵本を贈呈するとともに、読み聞かせを行い、親子の言語コミュニケーションの大切さを伝えます。未受診者には、100%の配布を目指し、継続的な訪問を行います。配布する絵本は、定期的に再検討をし、読み聞かせは引き続き、図書館おはなしボランティアの協力により継続して実施します。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
絵本の読み聞かせ 実施回数	11回	12回	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
1-19	乳幼児向け絵本の紹介冊子「はじめのいっぼ」の配布	健康課 図書館	継続
事業内容及び方針			
図書館作成の乳幼児向け絵本の紹介冊子「はじめのいっぼ」を図書館や、保健センターの3か月健康診査等、乳幼児対象の事業で配布し、読書を楽しむ家庭環境づくりを支援します。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
配布回数等	図書館で常時配布 「パパママクラス」での紹介 5回 「すくすくベビークラス」での配布 3回 3か月児健康診査での配布 11回 福生病院小児病棟に設置	図書館で常時配布 「パパママクラス」での紹介 6回 「すくすくベビークラス」での配布 3回 3か月児健康診査での配布 12回 福生病院小児病棟に設置	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
1-20	3～5歳児向け絵本の紹介冊子「すてっぷ」の配布	健康課 図書館	拡充
事業内容及び方針			
3・4・5歳児向け絵本リスト「すてっぷ」を、図書館や、保健センターの3歳児健康診査事業で配布し、読書を楽しむ家庭環境づくりを支援します。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
配布回数等	図書館で常時配布 3歳児健康診査での配布 年11回	図書館で常時配布 3歳児健康診査での配布 年12回 出前おはなし会等で配布	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
1-21	図書館見学・図書館招待の実施	図書館	継続
事業内容及び方針			
幼稚園・保育施設等に対し、図書館の見学やおはなし会を実施し、図書館の使い方を案内します。幼稚園・保育施設等へのPRに努め、利用の拡充を図ります。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
実施施設数	幼稚園 2園	3施設	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
1-22	子ども読書の日及びこどもの読書週間事業	図書館	継続
事業内容及び方針			
子ども読書の日(4月23日)及びこどもの読書週間にクイズ、おはなし会等のイベントを実施します。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
イベント実施数	2件	2件	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
1-23	子ども読書推進イベント	図書館	継続
事業内容及び方針			
スタンプカード、読書チャレンジ等、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるための活動を推進します。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
イベント実施数	3件	3件	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
1-24	夏休みイベント	図書館	継続
事業内容及び方針			
<p>こわいおはなし会や科学あそびおたのしみ会等の夏休みイベントを実施します。普段図書館イベントに参加ができない子どもの参加を促します。</p>			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
イベント実施数	7件	7件	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
1-25	絵本原画展	図書館	継続
事業内容及び方針			
<p>子どもに、より絵本に親しんでもらえるよう、絵本原画展を実施します。</p>			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
参加者数	絵本原画展・ワークショップ 430人	絵本原画展・ワークショップ 450人	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
1-26	人形劇	図書館	継続
事業内容及び方針			
<p>本に親しむきっかけづくりとして、人形劇の公演を実施します。公演内容、開催時期に配慮し、継続して実施します。多くの子どもに参加してもらうため、幼稚園・保育施設、児童館や地域施設でのチラシ配布等、PRに努めます。</p>			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
参加者数	315人 4館(全館)各1回	310人 4館(全館)各1回	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
1-27	家読(うちどく)のすすめ事業	図書館	拡充
事業内容及び方針			
同じ本を読んで家庭内で感想を話し合う家読(うちどく)の取組を推進する事業を実施します。うちどく手帳の配布を継続するほか、新たにブックリストを作成します。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3~7年度)事業目標	
ブックリストの作成		1回	

(4)「本との出会い」を演出する取組

事業NO	事業名	所管課	実施区分
1-28	図書館での「赤ちゃん絵本コーナー」の設置・提供	図書館	継続
事業内容及び方針			
赤ちゃんからの読み聞かせに適した絵本を選び、「はじめのいっぽ」のラベルを貼付し別置します。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3~7年度)事業目標	
設置館数	4館(全館)	4館(全館)	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
1-29	図書館での「読み聞かせ絵本コーナー」の設置・提供	図書館	継続
事業内容及び方針			
保護者や市内で活動するボランティアの本選びのために、読み聞かせに適した絵本を「よみきかせ」ラベルを貼付し別置します。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3~7年度)事業目標	
実施館数	4館(全館)	4館(全館)	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
1-30	図書館での「すてっぴコーナー」の設置・提供	図書館	継続
事業内容及び方針			
3～5歳を対象に読み聞かせに適した絵本を選び、「すてっぴ」のラベルを貼付し別置します。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
実施館数	4館(全館)	4館(全館)	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
1-31	図書館での絵本・おすすめ本の展示	図書館	継続
事業内容及び方針			
おすすめ本、季節やテーマごとの絵本、読み物等の展示を行い、図書館に親しみを覚えてもらえるように働きかけます。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
展示回数	年4回 展示場所:4館(全館) 計13か所	年4回 展示場所:4館(全館) 計13か所	

2 小・中学生を対象とした取組

【推進目標】

読書は、子どもの感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにします。
 子どもの豊かな読書経験の機会の充実と、児童・生徒の課題解決を支援するため、読書活動の推進事業に取り組みます。

【推進事業(41事業)】

※令和元年度実績については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した内容があります。

(1)「子どもと本を結びつける」読み聞かせ・おはなし会・ブックトーク等の取組

事業NO	事業名	所管課	実施区分
2-1	小学校での読み聞かせや本の紹介	教育支援課 (学校図書館)	継続
事業内容及び方針			
読書に親しむ環境づくりのため、学校司書を中心に小学校の図書の時間を利用した読み聞かせと本の紹介や、図書委員会を中心にボランティアの協力を得て、低学年から読み聞かせや紙芝居等を行います。学校図書館において、紹介した本や未知の分野の本の展示等を工夫し、本との出会いを図ります。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
学校司書の配置	学校司書:原則週2日勤務	学校司書:原則週2日勤務	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
2-2	学童クラブでの読み聞かせ	子ども育成課 (学童クラブ)	継続
事業内容及び方針			
年間を通し、定例的に、指導員による読み聞かせを実施し、本への興味を持たせる環境づくりを行います。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
読み聞かせの実施回数	各学童クラブで月1～3回実施	各学童クラブで月1～3回実施	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
2-3	図書館のおはなし会への参加	子ども育成課 (学童クラブ) 図書館	継続
事業内容及び方針			
図書館と併設されている学童クラブでは、図書館のおはなし会に参加します。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
おはなし会への参加回数	わかたけクラブ 月2回 わかぎりクラブ 月1回 武蔵野台クラブ 月1回	わかたけクラブ 月2回 わかぎりクラブ 月1回 武蔵野台クラブ 月1回	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
2-4	ふっさっ子の広場での読み聞かせ	生涯学習推進課 (ふっさっ子の広場)	継続
事業内容及び方針			
地域のサポーターによる読み聞かせや紙芝居の機会を増やすため、引き続きサポーターの拡充を図るとともに、希望する広場で絵本の読み聞かせや、おはなし会を実施します。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
読み聞かせ等の実施広場数	7広場(全ふっさっ子の広場)	7広場(全ふっさっ子の広場)	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
2-5	松林分館での絵本の読み聞かせ	公民館	継続
事業内容及び方針			
公民館松林分館事業「だれでもなんでも展」において、平和をテーマに読み聞かせを行います。読み聞かせの内容等については実行委員会が決定します。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
読み聞かせ参加者数	台風19号に伴い中止 (平成30年度:45人)	30人	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
2-6	としょかん出前おはなし会「ぶっくん」	図書館	継続
事業内容及び方針			
図書館職員と図書館おはなしボランティアにより、小学校1年生を対象に絵本の読み聞かせ、手遊び、図書館利用のPR等を行う出前おはなし会を実施します。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
おはなし会の実施校数	小学校7校(全校)	小学校7校(全校)	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
2-7	出前ブックトーク(小・中学校)	図書館	継続
事業内容及び方針			
身近なことや思いもよらないテーマから、様々な分野にわたる本を紹介するブックトークを実施し、読書への関心を引き出していきます。事業のPRに努め、利用の拡充を図ります。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
ブックトークの実施校数	小学校2校	小学校2校 中学校1校	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
2-8	出前おはなし会	図書館	継続
事業内容及び方針			
学校、学童クラブ、ふっさっ子の広場等に、図書館職員や図書館おはなしボランティアが出向き、おはなし会を実施します。事業のPRに努め、利用の拡充を図ります。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
おはなし会の実施回数	16回 小学校・学童クラブ・ふっさっ子の広場	16回 小学校・学童クラブ・ふっさっ子の広場	

(2)「身近なところで、本に親しむ」環境づくりの取組

事業NO	事業名	所管課	実施区分
2-9	利用しやすい学校図書館の実現	教育指導課 教育支援課 (学校図書館)	継続
事業内容及び方針			
各学校に配置された学校図書館担当教員・学校司書を中心に、図書委員会や、ボランティア等の協力を得て、児童・生徒が利用しやすい学校図書館の実現を図ります。学校図書館内の整備に加えて、資料や図書の充実、調べ学習のための支援をすることで、利用率の向上を図ります。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
貸出冊数	小学校 50.8冊/人 中学校 3.7冊/人	小学校 50.8冊/人 中学校 3.7冊/人	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
2-10	学校での団体貸出の利用	教育支援課 図書館	継続
事業内容及び方針			
図書館の団体貸出を利用し、児童・生徒に、よりバラエティに富んだ資料を提供します。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
団体貸出校数 (調べ学習用図書を含む)	小学校7校(全校) 中学校1校	小学校7校(全校) 中学校3校(全校)	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
2-11	学校図書館の本の充実	教育支援課 (学校図書館)	継続
事業内容及び方針			
子どもの発達段階や経験等をふまえ、多様な興味・関心に応えるため、充足感や知的刺激を与える本等、読書傾向に沿った選書を図ります。また、各教科等の調べ学習に対応するため、年間の指導計画に基づいた本を収集します。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
蔵書冊数	小学校 77,755冊 中学校 41,073冊	小学校 85,530冊 中学校 45,180冊	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
2-12	学校図書館相互貸借事業	教育支援課 (学校図書館) 図書館	継続
事業内容及び方針			
調べ学習等で自校に所蔵していない本を他校や図書館から借り受け、提供します。図書館の図書等配本事業を活用し、学校図書館の充実を図ります。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
貸借冊数	小学校 411冊(図書館分は205冊) 中学校 47冊(図書館分は12冊)	小学校 411冊(図書館分は205冊) 中学校 47冊(図書館分は12冊)	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
2-13	調べ学習への指導・援助	教育指導課 教育支援課 図書館	継続
事業内容及び方針			
「確かな学力」の重要な要素である問題解決能力を育成するために総合的な学習の時間を始めとした各教科の学習で、調べ学習の充実を図ります。また、事前に調べ学習のテーマを図書館に連絡し、利用指導の連携を図ります。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
学校図書館の調べ学習等相互貸借冊数	371冊(図書館分は 217冊)	429冊(図書館分は 252冊)	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
2-14	学童クラブでの図書コーナーの充実	子ども育成課 (学童クラブ)	継続
事業内容及び方針			
本への興味を持たせる環境づくりを行い、子どもが楽しめる図書コーナーを充実させ、いつでも読書ができる環境を整えます。子どもが興味を持つ本の購入に努めます。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
購入冊数	各学童クラブが年10冊ほど	各学童クラブが年間10冊以上	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
2-15	ふっさっ子の広場での本の充実	生涯学習推進課 (ふっさっ子の広場)	継続
事業内容及び方針			
絵本、紙芝居等を所蔵し、本との触れ合いの場を提供します。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
絵本、紙芝居等の 所蔵広場数	7広場(全ふっさっ子の広場)	7広場(全ふっさっ子の広場)	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
2-16	学校図書館への配本事業	図書館	継続
事業内容及び方針			
学校間、学校・図書館間の配送を目的として、図書等配本事業配本便を実施します。調べ学習等で必要な本を、迅速に提供します。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
配送実施校数	小学校7校(全校) 中学校3校(全校)	小学校7校(全校) 中学校3校(全校)	

(3)「本を読む楽しさ」を広める取組

事業NO	事業名	所管課	実施区分
2-17	朝読書の実施	教育指導課	継続
事業内容及び方針			
読書習慣の定着のために朝の10分間全校一斉読書を行います。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
朝読書の実施校数	小学校7校(全校) 中学校3校(全校)	小学校7校(全校) 中学校3校(全校)	

第5章 推進のための取組

事業NO	事業名	所管課	実施区分
2-18	読書週間事業の実施	教育指導課	継続
事業内容及び方針			
読書習慣の定着のために春・秋の読書週間に、全校一斉読書、担任や学校司書、保護者ボランティアによる読み聞かせ等「読書に親しむ」を実施します。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
「読書は好きですか」との質問に対して肯定的な回答の割合	小学校 75% 中学校 68%	小学校 80% 中学校 75%	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
2-19	図書館見学・図書館招待の実施(小学校)	教育指導課 図書館	継続
事業内容及び方針			
学校では、図書館への見学を実施し、学校図書館との相互補完によって子どもが一層本に親しむことができるよう、指導の充実を図ります。図書館では希望に応じて図書館資料を使用した調べ方を案内するほか、おはなし会を実施します。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
実施校数	小学校5校	小学校7校(全校)	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
2-20	学校図書館機能の計画的な利活用	教育指導課 教育支援課 (学校図書館)	継続
事業内容及び方針			
各教科等を横断的に捉え、学校図書館の利活用を基にした情報活用能力を学校全体として計画的かつ体系的に指導するため、学校図書館の利用指導・読書指導・情報活用等に関する指導計画を作成し、それに基づき計画的・継続的に学校図書館を利活用します。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
学校図書館に関する指導計画作成の実施校数	小学校7校(全校) 中学校3校(全校)	小学校7校(全校) 中学校3校(全校)	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
2-21	図書委員会活動の充実	教育指導課 教育支援課 (学校図書館)	継続
事業内容及び方針			
担当教員・学校司書等の支援により、図書館での貸出作業・整理業務、広報、企画の立案等図書委員会の活動の促進に努めます。学校司書や担当教員との情報交換を行い、一層の充実を図ります。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
活動の実施校数	小学校7校(全校) 中学校3校(全校)	小学校7校(全校) 中学校3校(全校)	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
2-22	小学生向けすいせん図書リストの作成・配布	教育支援課 (学校図書館) 図書館	継続
事業内容及び方針			
児童の本選びの参考になるように図書館、学校司書が連携して、低学年向け・中学年向け・高学年向けにそれぞれすいせん図書リストを作成し、全校児童に配布します。学校では、図書館の配布したブックリストを利用し、読書への啓発に努めます。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
配布校数	小学校7校(全校)	小学校7校(全校)	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
2-23	「としょかんだより -いちねんせい-」の配布	図書館	継続
事業内容及び方針			
としょかん出前おはなし会「ぶっくん」等を通じて、小学校1年生に図書館利用のPRパンフレットを配布し、定期的な見直しを行います。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
配布校数	小学校7校(全校)	小学校7校(全校)	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
2-24	「さあ、きみはどうやって調べる？」の配布	図書館	継続
事業内容及び方針			
図書館で、調べ学習のためのパンフレット「さあ、きみはどうやって調べる？」を配布し、図書館資料の利用方法のPRに努めます。パンフレットは定期的に見直しを行います。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
配布回数等	図書館で常時配布 図書館招待の来館生徒に配布	図書館で常時配布 図書館招待の来館生徒に配布	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
2-25	パスファインダーの作成・公開	図書館	新規
事業内容及び方針			
パスファインダーを作成し、図書館ホームページ等で公開することで、調べ学習のサポートを行います。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
図書館ホームページ パスファインダー登録数	/	年1件	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
2-26	「一日図書館員」の実施	図書館	継続
事業内容及び方針			
図書館の仕事への興味を読書へとつなげていく、小学生を対象とした夏休み事業です。一日図書館員となった子どもには、今まで知らなかった図書館の中の様子を体験してもらいます。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
一日図書館員数	21人 4館(全館)	21人 4館(全館)	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
2-27	読んだ本を記録する「読書ノート」の作成・配布	図書館	新規
事業内容及び方針			
読書による達成感を得ることができる取組として、読んだ本を記録する「読書ノート」を作成し、配布します。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3~7年度)事業目標	
実施事業数	/	1事業(読書ノートの作成・配布)	

【再掲】

事業NO	事業名	所管課	実施区分
2-28	子ども読書の日及びこどもの読書週間事業（再掲1-22）	図書館	継続

事業NO	事業名	所管課	実施区分
2-29	子ども読書推進イベント（再掲1-23）	図書館	継続

事業NO	事業名	所管課	実施区分
2-30	夏休みイベント（再掲1-24）	図書館	継続

事業NO	事業名	所管課	実施区分
2-31	絵本原画展（再掲1-25）	図書館	継続

事業NO	事業名	所管課	実施区分
2-32	人形劇（再掲1-26）	図書館	継続

事業NO	事業名	所管課	実施区分
2-33	家読(うちどく)のすすめ事業（再掲1-27）	図書館	拡充

(4)「本との出会い」を演出する取組

事業NO	事業名	所管課	実施区分
2-34	学校図書館での本の展示	教育支援課 (学校図書館)	継続
事業内容及び方針			
本との出会いを作るために、季節、学校行事等に合わせ広い分野の本を紹介し、児童・生徒の本選びに役立てます。学校司書が中心となり、内容の充実を図ります。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
展示回数等	展示回数 各学校において年10回程度 展示冊数 毎月テーマを変えて4～10冊	展示回数 各学校において年10回程度 展示冊数 毎月テーマを変えて4～10冊	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
2-35	学校図書館のわかりやすい配架の工夫	教育支援課 (学校図書館)	継続
事業内容及び方針			
見出し板や本への別置ラベルの貼付等、児童・生徒にわかりやすい配架を心掛けます。学校司書が中心となり書架サイン整備や見出し板を作成します。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
実施校数	小学校7校(全校) 中学校3校(全校)	小学校7校(全校) 中学校3校(全校)	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
2-36	図書館での「新しいねんせいコーナー」の設置・提供	図書館	継続
事業内容及び方針			
小学校1年生と保護者を対象とした「新しいねんせいコーナー」を設置し、毎年4月から一定期間、いちねんせい向けの本を展示します。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
設置館数	4館(全館)	4館(全館)	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
2-37	図書館での「すいせん図書コーナー」の設置・提供	図書館	継続
事業内容及び方針			
全小学生に配布している、「小学生向けすいせん図書リスト」に掲載している本に、「(小・中・高)学年向けすいせん図書」のラベルを添付し別置します。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
設置館数	4館(全館)	4館(全館)	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
2-38	図書館での「教科書掲載図書コーナー」の設置・提供	図書館	継続
事業内容及び方針			
小学校の「教科書に掲載された作品」に、「小学(1～6)年生教科書掲載図書」のラベルを添付し別置します。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
設置館数	1館(中央図書館)	1館(中央図書館)	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
2-39	外国語図書のPR	図書館	拡充
事業内容及び方針			
児童・生徒の外国語に触れるきっかけづくりとなるよう、中央図書館で所蔵してる英語や他の言語で書かれた絵本や読み物をリスト化し、ホームページ等で公開します。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
リスト作成回数	0回	1回	

【再掲】

事業NO	事業名	所管課	実施区分
2-40	図書館での「読み聞かせ絵本コーナー」の設置・提供 (再掲1-29)	図書館	継続

事業NO	事業名	所管課	実施区分
2-41	図書館での絵本・おすすめ本の展示 (再掲1-31)	図書館	継続

3 青少年(ヤングアダルト)を対象とした取組

【推進目標】

大人への移行期である青少年の読書は、身の回りの課題解決や社会への参加等、自らを助けるきっかけになります。青少年の読書への関心を高め、読書習慣の形成を図ること、課題解決を支援することを目的として、読書活動に関する推進事業に取り組みます。

【推進事業(9事業)】

※令和元年度実績については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した内容があります。

(1)「子どもと本を結びつける」ブックトーク等の取組

事業NO	事業名	所管課	実施区分
3-1	出前ブックトーク(高等学校)	図書館	継続
事業内容及び方針			
進学や仕事等、身近なことや思いもよらないテーマから、様々な分野にわたる本を紹介するブックトークにより、読書への関心を引き出していきます。各学校へ事業をPRし、開催の拡大を図ります。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
ブックトークの開催校数	0校	2校(全校)	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
3-2	対話型読書活動の推進	図書館	拡充
事業内容及び方針			
友人や身近な人等と好きな本をすすめ合う等、読書体験によるコミュニケーションを推進する取組を実施します。中・高校生向けには、ビブリオバトルの普及を図ります。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
事業実施回数	1回	2回	

(2)「身近なところで、本に親しむ」環境づくりの取組

事業NO	事業名	所管課	実施区分
3-3	新中学1年生を対象としたヤングアダルトコーナーのPR	図書館	新規
事業内容及び方針			
これから中学1年生になる小学6年生を対象に、図書館の青少年サービスを紹介したリーフレットを配布するほか、ヤングアダルトコーナーの紹介や、中学生からの図書館利用について案内し、PRに努めます。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
配布校数		小学校7校(全校)	

(3)「本を読む楽しさ」を広める取組

事業NO	事業名	所管課	実施区分
3-4	中・高校生向けすいせん図書リスト「ZANMAI」の作成・配布	教育支援課 (学校図書館) 図書館	継続
事業内容及び方針			
中・高校生の本選びの参考になるように図書館、学校司書が連携してすいせん図書リスト「ZANMAI」を作成し、図書館で配布するほか、中学校・高等学校に配布します。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
配布校数	中学校3校(全校) 高等学校2校(全校)	中学校3校(全校) 高等学校2校(全校)	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
3-5	ヤングアダルト向け新聞の発行	図書館	継続
事業内容及び方針			
中・高校生と図書館が協力して「中・高校生におすすめする本」の紹介やイラスト等を掲載した新聞を発行し、図書館での展示やホームページでの公開等を行います。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
中・高校生向け新聞「いろは新聞」の発行回数	3回	3回	

第5章 推進のための取組

事業NO	事業名	所管課	実施区分
3-6	職場体験・ボランティア体験の受け入れ	図書館	継続
事業内容及び方針			
中学生の職場体験や中・高校生のボランティア体験を受け入れ、図書館業務を体験してもらいます。乳幼児・子ども向けおはなし会での読み聞かせ体験により、本をきっかけとしたふれあいの楽しさを伝えます。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
中学校職場体験参加者数等	中学校職場体験 全校で22人 夏休みボランティア 31人	中学校職場体験 全校で22人 夏休みボランティア 31人	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
3-7	「ジュニア司書養成講座」の開催	図書館	新規
事業内容及び方針			
ヤングアダルト世代を対象に、読書活動のリーダーとして活動を行う「ジュニア司書」の養成講座を開催します。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
講座回数	/	年1回	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
3-8	パスファインダーの作成・公開(高校生)	図書館	新規
事業内容及び方針			
テーマ別にパスファインダーを作成し、公開することで、調べ学習のサポートを行います。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
図書館ホームページ パスファインダー登録数	/	年1件	

(4)「本との出会い」を演出する取組

事業NO	事業名	所管課	実施区分
3-9	ヤングアダルト課題解決コーナーの設置	図書館	新規
事業内容及び方針			
中・高校生を対象に、資格取得、就職、スキルアップのための本を収集します。ホームページや掲示等でPRし、周知を図ります。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
設置館数		1館(中央図書館)	

4 特別な支援や配慮を必要とする子どもを対象とした取組

【推進目標】

読書をするのに少しの支援や配慮が必要な子どもがいます。
特別支援学級の子どもたち、病院に入院している子ども、外国語を母語とする子どもを対象とした、読書活動に関する推進事業に取り組みます。

【推進事業(4事業)】

※令和元年度実績については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した内容があります。

(1)「身近なところで、本に親しむ」環境づくりの取組

事業NO	事業名	所管課	実施区分
4-1	特別支援学級への団体貸出の実施	教育指導課 教育支援課 図書館	継続
事業内容及び方針			
学校への団体貸出の一環として、特別支援学級への団体貸出を実施します。学校に対し事業のPRを実施し、利用の拡充に努めます。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
団体貸出クラス数	1クラス	2クラス	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
4-2	病院サービス(小児病棟)	図書館	継続
事業内容及び方針			
入院中の子どもと保護者のために、公立福生病院の小児病棟に対し、絵本等の団体貸出を実施します。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
団体貸出冊数	300冊	400冊	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
4-3	図書館での「多言語絵本のコーナー」の設置・提供	図書館	継続
事業内容及び方針			
日本語以外の言語を母語とする子どもが利用できるよう、外国語の絵本や読み物を収集し配架します。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
絵本の所蔵冊数	1,036冊	1,200冊	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
4-4	障害者サービスの充実	図書館	拡充
事業内容及び方針			
読書をするのに支援が必要な子どものために、さわる絵本、点訳図書、デジター図書、リーディングトラッカー等を整備し、貸出します。また、その利用方法についてホームページ等で周知を行います。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
支援用資料リストの作成		1回	

5 人材育成のための取組

【推進目標】

子どもの読書活動の推進には、支援する人材の育成が欠かせません。
子ども読書活動の推進に携わる方のための講座や、情報交換や資質の向上を目的とした会議・研修を実施し、人材の育成・確保に努めます。

【推進事業(9事業)】

※令和元年度実績については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した内容があります。

事業NO	事業名	所管課	実施区分
5-1	学校図書館担当教員の研修会	教育指導課	継続
事業内容及び方針			
読書活動研修会において各学校図書館担当教員の情報交換、研修を行います。また、より一層各校の成果を情報共有していけるよう研修の在り方を検討します。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
研修会の開催回数	1回	1回	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
5-2	学校司書配置事業	教育支援課	継続
事業内容及び方針			
小・中学校の学校図書館に専任の司書を配置し、学校図書館の環境整備と読書活動支援や、授業支援・調べ学習支援の強化を図ります。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
学校司書配置数等	学校司書配置数 5人(2校に1人) 貸出冊数 小学校 124,259冊、中学校 7,786冊 相互貸借借受冊数 小学校 435冊、中学校 51冊	学校司書配置数 5人(2校に1人) 貸出冊数 小学校 124,259冊、中学校 7,786冊 相互貸借借受冊数 小学校 435冊、中学校 51冊	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
5-3	学校図書館運営連絡会	教育支援課 (学校図書館) 図書館	継続
「学校図書館運営マニュアル」の改訂や学校図書館を円滑に運営するため、教育支援課、学校、図書館と必要に応じ調整会議を開催します。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
開催回数	0回	必要に応じて開催	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
5-4	学校司書打合せ	教育支援課 (学校図書館) 図書館	継続
事業内容及び方針			
学校図書館の効果的運営のために月1回、中央図書館において学校司書の打合せ会議を開催します。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
開催回数	12回	12回	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
5-5	学校図書館ボランティアの活用	教育支援課 (学校図書館)	継続
事業内容及び方針			
「学校図書館ボランティアの手引き」を基に、学校図書館の充実のため書架整理、季節飾り、読み聞かせ等の活動を行います。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
ボランティアの参加校数	小学校7校(全校)	小学校7校(全校)	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
5-6	図書館児童担当職員研修	図書館	継続
事業内容及び方針			
都立図書館等が主催する児童サービス担当を対象とした研修へ参加し、知識の向上につなげます。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
講座等の参加回数・人数	2件・5人	2件・4人	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
5-7	「図書館おはなしボランティア」養成講座	図書館	継続
事業内容及び方針			
図書館や各施設のお話し会等で活動する「図書館おはなしボランティア」の養成講座を実施します。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
図書館 おはなしボランティア 登録数	40人	40人	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
5-8	読み聞かせのための大型絵本、おはなし会用グッズの貸出	図書館	継続
事業内容及び方針			
市内で活動するボランティアへ、読み聞かせのための大型絵本や紙芝居、パネルシアターや手袋人形等のおはなし会用グッズの貸出を行います。継続して大型絵本、紙芝居等を購入し、ボランティアの活動を支援します。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
ボランティアグループへの 貸出点数	387点	400点	

【再掲】

事業NO	事業名	所管課	実施区分
5-9	「ジュニア司書養成講座」の開催（再掲3-7）	図書館	新規

6 情報発信と啓発活動

【推進目標】

スマートフォンの普及やSNS等コミュニケーションツールの多様化等により、情報環境が大きく変化しています。図書館ホームページ等を活用しながら、乳幼児期から青少年期まで、それぞれの発達段階に合わせ、読書の大切さを伝える啓発活動を行います。

【推進事業(4事業)】

※令和元年度実績については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した内容があります。

事業NO	事業名	所管課	実施区分
6-1	公民館サークルへの情報提供	公民館 図書館	継続
事業内容及び方針			
公民館事業において、学習を深めるために中央図書館と連携して関係図書の展示を行います。公民館サークルに対し、チラシ配布等による情報提供を実施します。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
展示回数	16回	16回	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
6-2	図書館ホームページの充実	図書館	継続
事業内容及び方針			
こどもページ、ヤングアダルトページを作成し、本の検索・紹介、主催事業の案内等の情報を提供します。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
図書館ホームページ アクセス数	こどもページTOP 1,089件 ヤングアダルトページTOP 800件	こどもページTOP 1,200件 ヤングアダルトページTOP 900件	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
6-3	発達段階に応じた啓発活動の実施	図書館	継続
事業内容及び方針			
子どもの発達段階に合わせた啓発活動を実施し、読書の大切さや楽しさを伝えます。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
啓発活動の実施	乳幼児(0～2歳) 赤ちゃんはじめての絵本事業 他 幼児(3～5歳) 家読(うちどく)のすすめ事業 他 小学校(6歳～12歳) としょかん出前おはなし会「ぶっくん」他 ヤングアダルト世代 中・高校生向け推薦図書リスト「ZANMAI」作成・配布	乳幼児(0～2歳) 赤ちゃんはじめての絵本事業 他 幼児(3～5歳) 家読(うちどく)のすすめ事業 他 小学校(6歳～12歳) としょかん出前おはなし会「ぶっくん」他 ヤングアダルト世代(中・高校生) 新中学一年生を対象としたヤングアダルトコーナーPR	

事業NO	事業名	所管課	実施区分
6-4	子ども読書活動等に関する調査	図書館	継続
事業内容及び方針			
「福生市子ども読書活動等に関する調査」を実施し、子どもの読書活動状況の把握に努めます。			
指標	令和元年度実績	計画(令和3～7年度)事業目標	
調査の実施	未実施 (令和2年度に実施するため)	令和6年度に実施	

資料編

用語集

あ行

■ 家読(うちどく)

家庭において子どもを中心に家族で同じ本を読むことです。本を媒介として相互理解を深め、家族の絆が一層深まることを目指す活動のことです。

か行

■ こどもの読書週間

公益社団法人読書推進運動協議会主催。子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるために制定された子ども読書の日(4月23日)から5月12日までの約3週間を指します。

■ コミュニティ・スクール

地域に開かれた信頼される学校づくりを実現するため、保護者や地域の皆様などが一定の権限と責任をもって学校運営に参加する新しい学校のかたちです。

た行

■ デイジー図書

デイジー(DAISY:Digital Accessible Information System の略)図書は、CDの形態をした視覚障害者向けの音声録音図書です。

■ 読書通帳

図書館で借りるなどした本の情報を記録できる通帳のことです。

■ 特別支援学級

発達障害を含む障害のある児童・生徒一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸長するために編成された少人数の学級です。

は行

■ パスファインダー

特定のテーマに関する文献、情報の探し方・調べものの案内を指します。

- パネルシアター
パネル布を張った板(舞台)に、絵や文字を貼ったり外したりしながらおはなしや歌あそびを行うものです。
- ビブリオバトル
ゲーム感覚を取り入れた新しいスタイルの書評合戦のことです。ビブリオバトラー(発表者)たちがおすすめ本を持ち合い、一人5分の持ち時間で書評した後、バトラーと観客が一番読みたくなった本、「チャンプ本」を決定します。
- ブックトーク
テーマを決めて複数の本を紹介し、本の楽しさを伝えていく活動のことです。プログラムには、読み聞かせや朗読、ゲームなども組み込み、読書への動機付けとします。
- ブックリスト
おすすめ資料目録等、特定のテーマにより選定した複数の本の情報を掲載した一覧です。
- ふっさっ子の広場
放課後に小学校内の施設や校庭を利用し、安全な見守りの中で、子どもが安心して楽しくすごせる「学び・体験・交流」の場です。
- 不登校特例校分教室
不登校の子どもが社会的に自立できる力を育てていくために、子どもの状況に合った独自の教育課程を編成していく「新たな学びの場」として設置する教室です。

ら行

- リーディングトラッカー
本や文書にあて、両隣の文章を隠すことで読みたい箇所への集中を促す読書補助具のひとつです。
- レファレンス
利用者の求めに応じ、資料の提供・紹介及び情報の提示を行うサービスです。

計画策定名簿

策定委員会名簿		作業部会名簿	
健康課長	高山 香代	保健指導係長	三沢 哲也
子ども育成課長	上杉 隆	子ども育成係長	有沼 夕夏
子ども家庭支援課長	野崎 昌利	子ども家庭支援センター係長	山田 純子
教育部主幹	重末 祐介	指導係長	日原 麻里
教育支援課長	荻島 正義	学務・給食係長	岸野 美幸
生涯学習推進課長	菱山栄三郎	文化財係主事	田中 愛誠
公民館長	佐藤 克年	公民館係長	山下 真央
図書館長	大楠 功晃	管理係長	三田 憩子

検討経過

年月日	主な内容	
令和2年6月14日	第1回策定委員会	計画策定について 読書に関するアンケート(案)について
6月14日	第1回作業部会	計画策定について 読書に関するアンケート(案)について
6月27日	福生市図書館協議会	子ども読書活動推進に関する意見聴取
7月8日～7月27日	アンケート調査	「読書活動推進に関するアンケート」及び「子どもの読書に関するアンケート」の実施
10月21日	第2回作業部会	計画案について
10月24日	福生市図書館協議会	計画案に関する意見聴取
10月29日	第2回策定委員会	計画案について
11月14日	福生市図書館協議会	計画案に関する意見聴取
11月20日	福生市教育委員会	計画案について
12月9日・18日	福生市議会定例会	令和2年第4回福生市議会定例会に計画案の報告
12月18日～ 令和3年1月19日	福生市議会	議員意見聴取
1月5日～1月19日	パブリックコメント実施	
1月27日	第3回作業部会	計画案の最終確認について
1月27日	第3回策定委員会	計画案の最終確認について
2月13日	福生市図書館協議会	計画最終案に対する意見聴取
2月16日	福生市教育委員会	計画策定について
3月26日	福生市議会定例会	令和3年第1回福生市議会定例会に計画の報告

第四次福生市子ども読書活動推進計画

発行 令和3年3月

発行者 福生市

〒197-8501

東京都福生市本町5番地

<https://www.city.fussa.tokyo.jp>



古紙パルプ配合率100%再生紙を使用

この製品は、古紙パルプ配合率100%の再生紙を使用しています。このマークは、3R活動推進フォーラムが定めた表示方法に則って自主的に表示しています。

(本文)